

月九年三和昭

# 報公介紹業職

號九十五第

局 地 方 研 資 統

卷頭寫真——大阪市中央職業紹介所求職婦人講習會	報	一
辭令	一	一
職業紹介所設置	一	一
職業紹介所名稱並位置變更	一	一
職業紹介所職員異動	一	一
職業紹介事務打合せ講習會並講演會	一	一
研究	一	一
知識階級の就職問題(下)	一	一
國定教科書に現はれたる職業問題	一	一
資料	一	一
俸給生活者職業紹介取扱成績	一	一
職業紹介取扱取扱成績	一	一
職業紹介所労働賃銀立替状況	一	一
大阪市労働共濟會事業成績	一	一
主要地に於ける無料時員職業紹介状況	一	一
十三都市卸賣物價概況	一	一
十三都市賃銀概況	一	一
海外關係事項月報	一	一
一、フィンランド職業紹介法其他	一	一
二、英國労働者移動局の活動	一	一
三、瑞西の失業及同盟罷工調査	一	一
計	一	一
職業紹介事業概況	一	一
道府縣外職業紹介取扱概況	一	一
營利職業紹介事業概況	一	一
職業紹介月報	一	一
口糖労働紹介月報	一	一
道府縣外職業紹介取扱成績	一	一
營利職業紹介月報	一	一
十三都市賃銀表	一	一

局務事介紹業職央中

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

# 始



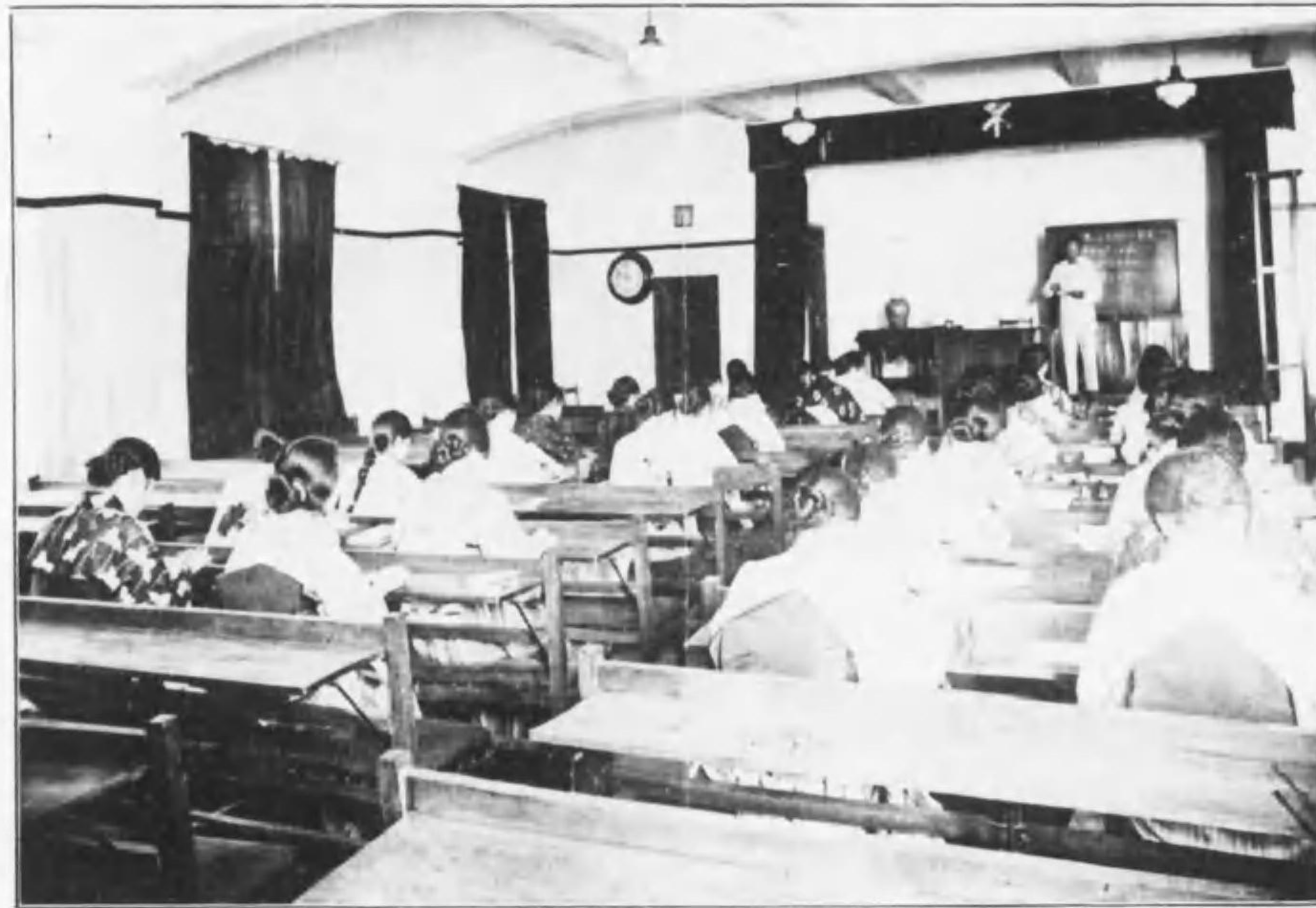
者了修習講會習講人婦職求回二第

(所介紹業職央中市阪大)



況實ノ習講員會上同

(所介紹業職央中市阪大)



中央職業紹介事務局  
(東京市麹町區元町町社會局内)  
(電話九ノ内(29)二、八六七番)

大阪地方職業紹介事務局  
(大阪府西區南通五丁目)  
(電話九ノ内(29)一、九一〇番)

名古屋地方職業紹介事務局  
(愛知縣東區)  
(電話東五、八四〇番)

福岡地方職業紹介事務局  
(福岡縣)  
(電話四一、九三二番)

東京地方職業紹介事務局  
(東京市麹町區元町町社會局内)  
(電話九ノ内(29)三、八八八番)

北海道、東京府、神奈川県	各職業紹介所 (一一二)
埼玉縣、群馬縣、千葉縣	
茨城縣、栃木縣、山梨縣	
長野縣、新潟縣、宮城縣	
福島縣、岩手縣、青森縣	
山形縣、秋田縣	
大阪府、京都府、兵庫県	各職業紹介所 (五九)
奈良縣、滋賀縣、鳥取縣	
島根縣、岡山縣、廣島縣	
和歌山縣、德島縣、香川縣	
愛媛縣、高知縣	
愛知縣、靜岡縣、三重縣	各職業紹介所 (三三)
岐阜縣、福井縣、石川縣	
富山縣	
山口縣、福岡縣、長崎縣	
大分縣、佐賀縣、熊本縣	各職業紹介所 (二二)
宮崎縣、鹿兒島縣、沖縄縣	

局報

辭令

大阪府知事 力石雄一郎
大阪地方職業紹介委員会委員ヲ命ス
福岡由太郎
名古屋地方職業紹介委員会委員ヲ命ス
地方事務官 安藤謙治
福岡地方職業紹介委員会幹事ヲ命ス
昭和三年九月十四日 内務省
職業紹介事務局 東屋高吉
名古屋地方職業紹介事務局事務ヲ命ス
昭和三年九月三十日
職業紹介事務局 酒井勇
東京地方職業紹介事務局事務ヲ命ス
高田重男
顯ニ依リ大阪地方職業紹介事務局事務取扱囑託ヲ解ク

地方記事

職業紹介所設置

大阪地方職業紹介事務局管内
△名 稱 高砂町職業紹介所
位 置 兵庫縣高砂町細工町一、一〇六
取扱種別 一般
經營主體 高砂町
認可月日 九月二十八日

職業紹介所名稱並位置變更

内鮮協和會桑尾職業紹介所ハ名稱ヲ内鮮協和會鶴橋職業紹介所ト改稱シ大阪府東成區四ノ町一七八内鮮協和會鶴橋保館内ニ移轉ス
職業紹介所專用電話開通
西巢鴨町職業紹介所 大塚(86)二、三五三
内鮮協和會鶴橋職業紹介所 大阪南五、九八〇
直方町職業紹介所 直方 六五六

職業紹介所職員異動

八月二十五日 教育社會課長 青井群三郎
岸和田市職業紹介所長(兼)就任 北條邦雄
岸和田市職業紹介所職員(專)就任 助役 二重作健藏
西巢鴨町職業紹介所長(兼)就任 主事 渡邊業藏
西巢鴨町職業紹介所職員(專)就任 社會課長 齋藤俊次
別府市職業紹介所職員(兼)就任 書記 京塚敏一
別府市職業紹介所職員(專)就任 清水良臣
九月八日
鎮路市職業紹介所長(兼)解任 主事 香月俊一郎
九月十日 直方町職業紹介所長(兼)就任 書記 正野輝美
同 直方町職業紹介所職員(專)就任

九月十日

鳴託 永井龍一
鹿兒島職業紹介所職員(兼)解任
九月十三日 鹿城戸至誠
門司市職業紹介所職員(專)解任
九月二十一日 書記 福原弘宣
直方町職業紹介所職員(兼)就任
九月二十六日 雇村田健一
門司市職業紹介所職員(專)就任
九月二十八日 雇原田健一
鹿兒島職業紹介所職員(專)就任
九月二十九日 宗基 錫
内鮮協和會鶴橋職業紹介所職員(專)就任
九月三十日 大内金助
八幡濱町職業紹介所長(專)解任 山本英藏
八幡濱町職業紹介所職員(專)就任

職業紹介事務打合、講習、講演會

求職婦人講習會
(大阪市立中央職業紹介所報)
一、開催場所、日時、科目、時間並講師
場所 大阪市立中央職業紹介所三階講堂
日時 自昭和三年八月十三日 自午前八時
至同 年同月三十日 至正 午
科目時間講師
珠算 (二十時間) 市立市同商業學校 川崎 精氏
一般事務取扱概要 (七時間) 日本生命保險株式會社 野口正造氏
本社親業課長 黒柳 勳氏
ペン習字 (六時間)

百貨店事務取扱概要 (四時間)  
株式會社 北川昭三郎氏  
大丸教育部長

府立女子専門 平林治徳氏  
校校長 (十九時間)  
株式會社住友銀行 杉本輝夫氏

市立中 松村義太郎氏  
立中央  
職業紹介所 松村義太郎氏  
二、時間割

十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日
八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時	八時—九時
調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示	調示
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記	簿記

三、聴講者の募集と受付

第一回求職婦人講習會に於ける聴講生の募集は廣く一般婦人に募り別段の制限を附せずして凡て聴講せしめたのであるが今回は募集に際して聴講者の資格を年齢二十二歳以下學歷高等女學校卒業以上の者たることに制限し更に申込者の中その身體、學業成績、操行、性質其の點につき詮衡をなし正聴講生を定め他は希望に依り二十名の限度に於て傍聴を許可することとした。

右の計畫に基き募集の結果申込總数は六十三名その内正聴講者として三十二名傍聴者として十八名合計五十名を選んだ。今その年齢、出身女學校、希望職業、現住所、本籍地等に於いて調査すると左の通りである。

一、年齢別調

正聴講者	七歲—十二歲	十三歲—十八歲	十九歲—二十四歲	二十五歲—三十歲	計
傍聴者	二	七	五	一〇	二四
計	二	七	五	一〇	二四

二、出身女學校別調

正聴講者	公立	私立	他府縣	他府縣	私立	他府縣	計
傍聴者	四	七	一〇	二	一	一	三三
計	四	七	一〇	二	一	一	三三

三、希望職業別調

正聴講者	事務員	店員	事務員	店員	未定	計
傍聴者	一	四	一	三	一	三二
計	一	四	一	三	一	三二

四、現住所別調

正聴講者	市内	市外	他府縣	計
傍聴者	三	二	一	六
計	三	二	一	六

五、本籍地府縣別調

正聴講者	大阪	兵庫	京都	奈良	高知	香川	愛媛	徳島	廣島	和歌山	岡山	山口	鳥根	富山	計
傍聴者	一	五	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一八
計	一	五	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一八

一、簿記

四、講義並實習項目  
一、簿記  
二、簿記  
三、簿記  
四、簿記  
五、簿記  
六、簿記  
七、簿記  
八、簿記  
九、簿記  
十、簿記

本、損益、取引、帳簿、記帳心得  
(一) 複式簿記、貸借仕譯の法則、勘定科目、帳簿、同上實習  
(二) 決算、豫備手帳、決算報告表、同上實習  
(三) 會社の場合における資本勘定、會社資本主勘定、會社の純損益處分法  
(四) 一般事務取扱概要  
二、事業組織の概要、例示、通信局、製鐵會社、銀行本店、生命保險會社  
(一) 事業組織と事務分掌  
(二) 百貨店事務取扱概要  
(三) 百貨店の意義、起源、組織  
(四) 百貨店事務分掌と百貨店員の心得  
(五) 簿記  
(一) 運賃結構(分間、相讓、相稱、肥瘦、筆路中心)  
(二) 文字の觀察(外展、組織、部分)  
(三) 書法説明と實習  
(四) 珠算  
(一) 連算、引算、基本練習、讀上算、繰算、暗算  
(二) 掛算、基本練習、見取算  
(三) 割算、基本練習  
(四) 割算、基本練習

出席日數	皆出席	十日以上	十日以下	計
正聴講者	二六	二	四	三二
傍聴者	一一	三	四	一八
計	三七	五	八	五〇

講習會閉講式は三十日午前九時より講師、及山口社會部長出席の上行はれた、右の表に示す十日以上出席者總數四十二名に對し講習修了證書が授與された。

六、就職斡旋  
前述の希望職業本人の性質現住所その他に基き講習會開催中より婦人事務員を採用せる主なる雇傭先一七名を選定して採用依頼狀を送り、更に所員出張開拓し就職斡旋に盡力したその結果各百貨店、大阪鐵道局及生命保險會社住友系の大會社等より職々求人申込を受け九月二十一日現在すでに就職せしめしものは正聴講者のみにても二十一名に達した殊に成績優秀なる修了生については其求人者の如きは内規による普通の高女卒業生に對する給料額よりも日に九錢増額し又求人者間に於て引張風となり互に譲らなかつたが紹介に慎重な考慮を拂つた結果幸に圓滿な解決を見た様な次第であつた因に引張風となつた求職者中の一人が寄越した手紙を参考に附記して見やう。

拜啓  
著きも次第々薄らいで参りましたが、皆様には御變りは御座居ませんか。  
此の度はいろいろとお世話になりました、無事に就職出来ました事は感謝の至りにたへませぬ。  
一度よせて頂かねばならないのですが、丁度鐵道局は八時半より四時までと御座いますので参りましてもだめですから、いつかよい折を持つて居るのです。久保さんと私は都合よく十日に参りまして、十二日より入れて頂く事が出来

ました。久保さんとは仕事は違ひますのですが同じ調査の掛りで御座います。私の参りました所は鐵道簿記をするのですから毎日算ばんばかりでございます。友の申されまますには私のお部屋が中で一番急がしく珠算ばかりの所だと申されて居ります。それ故案じて居りましたが皆様が親切にして下さいますので、その日々々々無事に務めて居ります。仕事は急しくとも氣の樂な所です故私はこんな所は止められぬと思ひます。

私が一番年下で三二歳になる人二十歳以上の人など十人ばかり居られます。ほんとによい所に入れて頂いてお禮の申し様が御座居ません。つきましては例の生命保險會社より私の宅へ女の方一人男の方二人前後三、四回見えられました。三度目の方は鐵道局へ行つた事は事實かと尋ねに参られたので御座居ます。で私方でもうその事を言つてはいけないと思つてほんとの事を申しました。するとその會社の課長さんから私にあてた手紙を下さいました。それには當社に採用したいのだが鐵道局へ行くのかとのお手紙でありました。あまり御親切にして下さるのでほつて置く譯にも参りませぬ、おわびのお手紙を出しておきました。こうしたことのため紹介所の迷惑にならなければよいがと心配でなりません。

時節柄どうぞ皆様御身體を御大切にされませぬながらお祈り申して居ります。  
先はお知らせまで。

富山縣女子工保護組合創立總會

主 催 富山縣  
日 時 九月十七日  
會 場 富山縣會議事堂  
出席者 四十五名  
富山縣知事、學務、警察部長、社會、保安、衛生課長、警察署長、保護組合代表者、工場主、名古屋地方職業紹介事務局員等

會の順序  
開會の辭 學務部長  
會期及規定案審議  
學務部長議長席に著き審議の結果原案通り可決  
役員選定  
學務部長より指名することに決し會長に下新川郡女工保護組合代表者森正雄氏を副會長に八尾警察署管内女工保護組合代表者山下龜次郎氏を任命せらる。

昭和三年度豫算案協定  
會長議長席に著き審議の結果原案通り可決す。  
求人申込所設置  
仙臺市職業紹介所において求人者の利便を考慮し市内樞要の箇所求人申込所を設置せり其の大要左の如し。

設置箇所	管 理 者 職 氏 名
長町舊役場	仙臺市 佐藤長右衛門
原町舊役場	同 山形 鐵助
南村木町二七	市 會 議員 伊勢久治郎
芝町二〇五	社會奉仕委員 石龍 文堂
二十八町	同 北野公一郎

小田原北二番 市會議員 伊藤又八  
町通 東三番町 區 長 大野金三郎  
八幡町 同 横山 要藏  
通町 市會議員 木川田 剛毅治  
本町通 社會事業協會

設置の大要  
求人申込所は「仙臺市職業紹介所求人申込所」と記載したる看板(長五尺、幅八寸五分)を掲示し其の脇に左記の如き申込書投入函(錠前付)を備付け申込用紙(別紙)及鉛筆を用意し隨意に所要の記入をなし投函せしむる方法を採り、且つ之が取り集めは毎朝小使を差向け蒐集せしむることとしたり。

氏 名	住 所	職 業	申 込 員 數		給 料	使用目的	就業時間	保證人
			女	男				
氏 名	住 所	職 業	女	男	給 料	使用目的	就業時間	保證人
氏 名	住 所	職 業	女	男	給 料	使用目的	就業時間	保證人

群馬縣主催少年職業紹介事務打合せ  
日 時 九月十日  
會 場 縣議事堂  
出席者 八十餘名

聯絡小學校長同職員、職業紹介所長同職員及市教育並社會事業關係職員、縣當局より同本學務部長、稻田社會課長同關係職員等  
諮問事項 群馬縣提出  
昭和四年三月卒業すべき児童に對する職業指導紹介に關し實施を要する事項如何  
答 申  
諮問事項に對する答申左の如し  
同 委 員 長

一、職業指導  
職業指導講演會  
小學校に於ては適當なる講師の派遣を求め講演會を開催し尙終了後は父兄と懇談會を開き寫と打合せを行ふこと。  
ロ、卒業直後就職せんとする児童並に其の父兄に對しパンフレット又はリーフレット等を配付すること。  
ハ、児童の希望職業に就ては受持講師、職業指導係學校醫と慎重考究の上遺憾なきを期すること。  
ニ、職業紹介所に於ては卒業後の指導誘致に就き訪問書面等により就職後六ヶ月日及一ヶ年後に調査の上適當なる指導誘致を行ふの外隨時就職児童の相談に應じ指導を誤らざること。  
ホ、職業紹介所に於ては職業轉換等に關しては特に出身小學校と熱誠を遂げ處置を誤らざる様努むること。  
二、児童調査

小學校に於ては卒業後の進路調査及職業紹介所の幹線希望者職業別別を行ひ又児童就職希望表を複製し紹介所の要求に應じ通報のこと。  
三、求人開拓及調査  
職業紹介所に於ては  
イ、少年職業紹介ポスターを掲出し一般的求人開拓を行ふこと。  
ロ、二月下旬頃各種職業別に求人申込誘致狀を發送開拓を行ふこと。  
ハ、三月一日頃に於て特殊開拓すること。  
ニ、児童就職希望表と求人申込表とを對比し求人不足の場合特に其の職業者には書狀又は出張開拓を行ふこと。  
三、求人口の調査は最も正確を期する爲適當なる方法を採ること。

四、紹介幹線  
職業紹介所に於ては  
イ、求人求職兩票の對比を適正に行ひ紹介すること。  
ロ、紹介は可在在學中に行ふ様努力すること。  
ハ、同一地方に同時期に數名以上就職の爲め旅行するときは特に所員引率すること。  
ニ、児童求人口一覽表に依り聯絡學校及紹介所は聯絡して紹介を行ふこと。

各職業紹介所と聯絡小學校とは適宜打合せを開き充分連絡を取ること。  
仙臺市職業指導講演會  
主 催 仙臺市職業紹介所

日 時 九月十一日  
會 場 仙臺市北五番町高等小學校  
聽講者 五百九十二名(小學校児童)  
講 師  
少年職業指導選擇に就て  
仙臺市職業紹介所長 中濱俊一郎

小樽市少年職業講習會  
主 催 小樽市  
日 時 自九月二日 四日間  
至九月五日  
會 場 小樽市尋常高等小學校  
講 師  
職業指導と適性検査  
横濱高等工業學校教授 水野 常吉  
大日本職業指導協會理事 水野 常吉  
少年職業指導概論  
内務省社會局書記官 川 西 實三  
職業 課 長 田 邊 尙雄  
音樂に就て 文 學 士 田 邊 尙雄

出席者 四百三十餘名  
小樽市長同助役、林田教育課長、吉井社會課長(所長)、村上教育主任、川久保職業紹介所主任、阿若見書記、聯絡小學校校長並男女職員及市立中學校長同高等女學校校長等

第二回就職少年慰安會  
主 催 新潟市職業紹介所  
日 時 九月二日  
會 場 二葉幼稚園  
出席者 六十八名  
就職少年 五十三名  
來 賓 十五名

會の順序  
イ、開會の辭 荒瀬所長  
ロ、奨 勵 若松新潟實業組合聯合會主事  
ハ、訓 話 櫻井二葉高等小學校長  
ニ、感 話 就職少年  
ホ、茶 葉 音樂、活動寫眞  
ト、閉會の辭 荒瀬所長

履 備 主 題 設 會  
主 催 下關市職業紹介所  
日 時 九月十五日  
會 場 下關市公會堂  
出席者 二十八名  
履備主二十五名、紹介所側三名

協議事項  
一、第三回就職者表彰並に慰安會に關する件  
(本年は仰大典關係に依り十月下旬に舉行のこと)  
一、就職者に對する公休日を利用せしむるかに關する件  
イ、春季履備主側の出席により遠足會を催すこと。  
ロ、市内各所に於て修養講話會を開くこと。  
希望事項  
一、就職者の貯蓄獎勵に關する件  
一、就職者の金錢取扱に關する件  
一、知識階級及少年就職希望者採用方に關する件  
履備主側よりの希望事項

新潟縣職業指導講習會

日時 九月十五日、十六日
會場 糸魚川町糸魚川小學校
講師並科題
少年職業指導
東京地方職業紹介事務局長 遊 佐 敏 彦
適性検査の方法
新潟高等學校教授 栗 山 菊 二
受講者 七十餘名
小學校職員、職業紹介所員、其他等
吾婿町職業紹介所事務打合せ

日時 九月二十日
會場 町役場樓上
出席者 十餘名
中原東京地方職業紹介事務局囑託及府下各職業紹介所長又は職員
協議事項
一、職業紹介聯絡事務に關する件
二、職業指導に付教育機關との聯絡に關する件

研究

知識階級の就職難(下)

三澤房太郎

知識階級の就職難に對する對策
知識階級の就職難に對しては物的給與に依つて救済する事は彼等の威厳を傷ける事有る。若し徳川時代に行ふた様に遺捐の命を以つて一時的に救

濟せんとするが如きは今日の國家社會の根本的原則に反するもので有る故絕對に爲す可くも無い。
吾一時的の救済を施し得たとしても何等の効果を期す可くも無い。
之が對策としては誰人も經濟界の恢復と教育の改善とに俟たねばならぬと云はれて居る。然し乍ら再考する時我國現下の知識階級の就職難を招來したる所以のものは蓋し我國に存する上述の如き特殊の原因が存する事由るものであるとも又思はねばならぬ。依つて其の特殊の原因を検討し之が對策を講じなければ眞の效果は擧げ得ないと信ずる。然して其の對策たるや彼等に單に職を得しむる事のみを目標としてはならない。彼等に生活の安定と就職機會の普遍的確保とを與へ社會生活に對する耐久力と自存力を與へねばならぬと考へる。そこで彼等に耐久力自存力を與ふる方法として最低限度の生活を保證するが如き政策をとらねばならぬ。其の爲には(一)知識階級をして組合を作り相互扶助を爲さしむと共に團結に依り其地位の安定を期せしめ(二)消費組合を作り日用品の安値購入を容易ならしめ(三)家賃の値上、交通費の低減、生活必需品の價格値下と安定化、勤勞所得課税の廢止に依り最低限度の生活を保證し(四)不時の出費に對し融資の方法を講じ(五)勤務時間外の夜業、事務所、營業所、宿泊に於ける衛生保健設備供給支拂の方法並に條件等に關する規定を定め、勤務に對し身體の健康と正當な報酬とを確保せしめ更に(六)解雇豫令を制定し解雇に際しては相當の手當を與へしめ雇主が蓋りに解雇するを防ぐ事も必要と思はれる。又(七)農村に於ける教育並文

化施設の完備を期し農村子弟の爲め補習教育を振興し、公民教育の徹底を期し或は農村の中學校卒業生の爲め適當なる補習教育施設を講じ、其他農村に於て文化の平等にして自由な享受の機會を與へ。そして農村に於ける知識階級を其の地方に止らしめ、地方文化の開發に努力せしむることも一面考へらるゝ所である。
更に今日我國知識階級の就職難の特質より見て直接間接の對策として考へらるる數個の問題を論じて見度い。
現下の知識階級の就職難の對策として第一に擧げねばならぬのは國民生活の改善である。上述の様に今日の如く國民生活が勤勞生活と修養生活とが對照たる區別がされて居らなければ、如何に勤勞主義の教育が施されても知識階級は其の中に到底止ることが出来ず、其の效果は空しくものであらうし何時までも事務員志望のものが市場に群集するに違ひない。文化偏重の弊風は何時までも消へるまい。
第二に父兄の教育の投資觀を改め子弟の雇人根性を打破せねばならない。
父兄は其の子弟の教育を投資觀する結果、不合理な入學試驗地獄を惹き起し、學校卒業生の就職難を招來するのであるが、かゝる父兄の誤れる觀念を打破せれば知識階級の就職難は何時までも解決出来まい。教育はあくまで人格完成であり、立身出世の手段で無いと云ふ腹の座つた觀念が父兄の頭に植へ付けねばならない。惟ふに現下の就職難は受け難い教育に相應しない地位を與へらるるが故の失望である。唯々人に雇はれんとするに當り就く可

き職が無い爲めから生ずるのである。依つて子弟が自ら獨立特行 雇人根性を打破したら如何に就職難は緩和されることであらう。
第三に望むことは教育に關する各方面に就いて改善を計ることである。
今日の學校に於いては教師は生徒の上級學校入學に鼓々として居る。小學校然り、中學校然り、高等學校又然りである。然し乍ら上級學校に行くのは(高等學校を除いて)全體の一部であることを忘れてはならない。例へば小學校に於いて見るに、大正十四年度の尋常卒業生中上級學校に行つたものが二八三、七〇三人職業に就いたものが一、〇三二、八一八人ある。中學校に於いて見るに三割から三割五分、高等女學校に於いては二割から二割七分位の上級學校入學者がある。其他のものは實社會に入つて自らの力で自らの運命を開拓せねばならぬ小職士である。彼等は受給本位の教育を受けたまゝ人格教育を受けたものであると稱されて、何等自己の生存について指導保護なく又何等の準備なくして放擲されて居るのである。彼等の爲め何等か職業教育乃至訓練を與ふ必要がなからうか。此の點から見て望み度いことは勤勞主義の教育と職業指導事業の振興である。生活に即したる教育を授け、更に、初めて職に就かんとするに際し、其の性質能力を科學的に分析調査し、其のもの、天分に從つて適當なる職業に指導し以つて社會生活に於ける職業人として職業的陶冶を通じて人格陶冶に至らしむることは、今日の産業時代の要求に應じたる事業であり、職業の分化著しく、徒弟制度の美風の失はれ其の教育的機能の存せざる今日極

めて必要欠く可からざる施設である。若し各人がその天分に從つて職業を選択し學校を卒業するに於いては、誠に統制なき現狀に於いて生ずる入學難及無定見なる文化偏重より生ずる學校卒業生の就職難を軽減すること明かである。
次に望み度いことは中學校の改善と實業學校の増設である。
アカデミックな教育を受けた中學校の卒業生にしてその中の三割乃至三割五分の上級學校に通むものを除く大部分のものは何等か一定の職業に就かざるを得ないのである。然るにかゝる大部分の人々に對して何等かの施設が必要とされるのである。實際彼等は實社會に於いて役に立たない人間として

中學校卒業生の卒業後の狀況調査

Table with columns: 卒業年 (Graduation Year), 卒業生数 (Number of Graduates), 上級學校入學者 (Advanced School Entrants), 計 (Total), 割合 (Ratio), 官公吏教員トナルモノ (Those becoming officials/teachers), 實業ニ就クモノ (Those entering industry), 死亡者 (Deceased), 其ノ他 (Others), 割合 (Ratio).

備考 大正十一年の調査は震災のため材料損失に付不明
然るに實業學校卒業生の就職狀況を調査するに當り要は今日の如き不況時代にも尙十分にある様である。然して就職率は別段變化無く三八乃至三九%を上下し、未就職率は四%乃至九%五を上下して居る位である。

主要道府縣甲種實業學校卒業生就職状況

卒業年	調査卒業生人数	校入学者数	就職者数	未就職者数	その他
大正十四年	6,492	2,800	2,800	3,692	—
昭和元年	10,000	7,000	7,000	3,000	—
同二年	10,000	7,000	7,000	3,000	—
同三年	10,000	7,000	7,000	3,000	—

依之觀は中學校の組織を改善し實社會に入るものについて其の卒業生に職業的訓練を授ける爲め何等かの施設を講ずること、實業學校を増設し蓋りに、中學校に赴くのを防止することが必要なることと考へらる。殊に私立學校の新設の場合、中學校よりも實業學校に對し認可することに文部當局は考慮すべきであるまいか。

以上の様な改善は更に教師の資質に就いても考慮せねばならない。事實生徒は實生活に即した教育を受けて居らないのは、教師が實社會に餘りの経験のない、そして、机上で概念的に教へられた理論の卸賣を行ふに過ぎないのであるからである。彼等は學校の社會的使命に就いては知らず又は行はざることと誇とする位である。こゝに今日の狀態を招來した根本的原因があると思ふ。實生活に對して眞面目な経験の無き教師の感化と知識階級の教育を受けたと云ふ安價なアグニターは如何に就職難を深刻化せしめたことであらう。

大學專門學校卒業生増加趨勢

年 度	帝國大學	官立大學	私立大學	專門學校	實業專門學校	中學校	實業中學校
明治十年	—	—	—	—	—	—	—
同十五年	—	—	—	—	—	—	—
同二十年	—	—	—	—	—	—	—
同二十五年	—	—	—	—	—	—	—
同三十年	—	—	—	—	—	—	—
同三十五年	—	—	—	—	—	—	—
同四十年	—	—	—	—	—	—	—
同四十五年	—	—	—	—	—	—	—
同五十年	—	—	—	—	—	—	—
同五十五年	—	—	—	—	—	—	—
同六十年	—	—	—	—	—	—	—
同六十五年	—	—	—	—	—	—	—
同七十年	—	—	—	—	—	—	—
同七十五年	—	—	—	—	—	—	—
同八十年	—	—	—	—	—	—	—
同八十五年	—	—	—	—	—	—	—
同九十年	—	—	—	—	—	—	—
同九十五年	—	—	—	—	—	—	—
同一〇〇年	—	—	—	—	—	—	—

敬と同情を有せしめ生徒の職業選擇に對し妥當な忠告と奉仕を爲す様になさねばなるまいと思ふ。次に望み度いことは高等教育機關の新設擴張に際して文科方面を避け、理科方面を振興せしむることである。何故か？

我國明治維新後文化の進運に従ひ學校は増加され卒業生の激増を見たものであるが、同時に新興時代の特色として法科經濟科の卒業生を需要したる大學專門學校増加趨勢

年 度	帝國大學	官立大學	私立大學	專門學校	實業專門學校	中學校	實業中學校
明治十年	—	—	—	—	—	—	—
同十五年	—	—	—	—	—	—	—
同二十年	—	—	—	—	—	—	—
同二十五年	—	—	—	—	—	—	—
同三十年	—	—	—	—	—	—	—
同三十五年	—	—	—	—	—	—	—
同四十年	—	—	—	—	—	—	—
同四十五年	—	—	—	—	—	—	—
同五十年	—	—	—	—	—	—	—
同五十五年	—	—	—	—	—	—	—
同六十年	—	—	—	—	—	—	—
同六十五年	—	—	—	—	—	—	—
同七十年	—	—	—	—	—	—	—
同七十五年	—	—	—	—	—	—	—
同八十年	—	—	—	—	—	—	—
同八十五年	—	—	—	—	—	—	—
同九十年	—	—	—	—	—	—	—
同九十五年	—	—	—	—	—	—	—
同一〇〇年	—	—	—	—	—	—	—

年 度	帝國大學	官立大學	私立大學	專門學校	實業專門學校	中學校	實業中學校
明治十年	—	—	—	—	—	—	—
同十五年	—	—	—	—	—	—	—
同二十年	—	—	—	—	—	—	—
同二十五年	—	—	—	—	—	—	—
同三十年	—	—	—	—	—	—	—
同三十五年	—	—	—	—	—	—	—
同四十年	—	—	—	—	—	—	—
同四十五年	—	—	—	—	—	—	—
同五十年	—	—	—	—	—	—	—
同五十五年	—	—	—	—	—	—	—
同六十年	—	—	—	—	—	—	—
同六十五年	—	—	—	—	—	—	—
同七十年	—	—	—	—	—	—	—
同七十五年	—	—	—	—	—	—	—
同八十年	—	—	—	—	—	—	—
同八十五年	—	—	—	—	—	—	—
同九十年	—	—	—	—	—	—	—
同九十五年	—	—	—	—	—	—	—
同一〇〇年	—	—	—	—	—	—	—

我國最近の學校卒業生を見るに文科方面の卒業生が漸かに多くなつて居る。例へば昭和二年の卒業生を見るに官立大學、專門學校全體が二萬三千三百〇四人あり、其の内訳は法經文卒業生一四、四四二人(六二%)を首とし、次に理工卒業生二、八二一人(二二%)を首とし、次に農林卒業生一、四六二人(二二%)、農林卒業生一、五〇四人(六%)、家事卒業生八八五(四%)、師範卒業生八〇三(三%)、技藝卒業生三七三(一%)之れに亞ぐの狀態である。

大 學 專 門 學 校	官 立			私 立			計
	官立	公立	私立	官立	公立	私立	
法經文	9,428	4,523	9,951	1,000	1,000	1,000	3,000
理 工	1,886	2,550	2,665	1,000	1,000	1,000	3,000
農 林	1,200	1,395	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
醫 藥	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
家 事	885	885	885	885	885	885	2,655
師 範	803	803	803	803	803	803	2,409
技 藝	373	373	373	373	373	373	1,119
計	14,442	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	33,442

更に之れを私立大學專門學校に就いて見るに卒業生全體一萬三千〇六十八人中法經文に卒業生は九、九一九人で全體の七六%を占めて居るのである。

然るに就職率の最も悪いのは(比較的數の多い方に就いて見るに)法經文が四六・七%、農林が四九・五%、醫藥が六九・二%、理工が七三・三%である。之れに依つて見るに法經文農林の學校に於いては

所である。更に之れと關聯することは學校卒業生の資格を居住地の國家に於いても同様な效力を認めしめることである。之れは外交上の交渉に依り爲す可きであるが、他國に於いてもかうした實例がある。例へば漢堡大學では米國にて職業を得やうとする卒業生の或者に對して特別の證明書を交付し、そのものが到着國の語學及一般的知識を有して居ることを證明せんとして居り、伊太利では文部大臣が外國と相互的に専門學校卒業生の資格を認める様に外國政府と協商せねばならぬと外務大臣に注意して居る。

第三に知識階級の就職難に當つて最も困難なのは特定の技術を有せぬことである。依つて再教育機關を整備して轉職を容易ならしむることが必要である。中學卒業生にしても小學校卒業生にしても職業教育を目的にしない以上其の教育完了後適當な職業教育を受ける機会を與ふことは國家の義務として必要なことである。然るに専門教育を受くものはそのまゝとして夫れ以外のものに對しては目下の處餘りに施設が無いのである。目下大都市に於いて臨時に實施されて居るが之れを國家或は商工會議所が直接に或は間接に實施することも又考慮せねばならぬと思ふ。

相互聯絡(三)取扱の公平無私なる態度とを必要とする。従つて職業紹介機關の國營と全國的普及とを要すること自ら明かである。知識階級の職業紹介に關しては取扱の性質上明確にして且つ信頼するに足る情報の蒐集と交換を必要とする。従つて専門職業紹介所を設置し其の能力を増進せしむると共に、職業紹介所は商工會議所及學校側に特殊な關係を付け、事業の性質と理解を得せしむると共に情報の蒐集交換を容易ならしめなくてはならぬ。更に内は地方山間の地にまで求人口を開拓し、知識階級の普遍的配分を行ひ、外に於いては白國の如く海外振興に於いて適當な地方に海外職業紹介所を設置するか、或は特別なる連絡を講じ積極的に紹介斡旋に當ること同一方法であらう。

然し知識階級の職業紹介は對人的信用と雇主に關する明確なる知識を必要とする關係上、各學校自らがその中に雇主斡旋を設け、その卒業生の紹介に對し特別の努力を必要とすると思ふ。然して職業紹介所と聯絡を計ること及びそれを通じて雇主についての調査を爲すことは最も妥當な方法と思ふ。各學校が又聯合して職業紹介所を設置することも又考へらるゝことである。米國に於いて實際行はれて居るのを見ると(一)カレージ聯合局(Career-collective Bureau)の(11)カレージと同窓會とが聯合を爲すもの(12)知識階級組合のもの(13)三種があつて効果を擧げて居る。第五に考へらるゝことは知識階級就職難の對策として特に研究を要することは學校卒業生の統制である。即ち知識階級の源泉たる學校卒業生を統制

### 結語

今日の知識階級の就職難は其の因つて来る所は主として現下の經濟界の不振に基くものであらうが尙考慮して見るに、我國の社會組織が變遷し來つて居り、従来の如き國家の政策は此の際方向轉換を必要とするに、更に我國が國際的に極めて不利なる地位にある關係から今日各方面に行き詰つて居ることを意味して居るのである。従つて之れが對策は如何に努力した處簡單に又即効的に効果が現はるゝものではない。其の根本的なものが改善せられて始めて豫期の効果を得ることが出来るのである。従つて如何なる妙案があるとして如何に努力した所今直ちに効果を得ることは出来ないのである。又例ひ一時的の補救策があつたとしても根本的な對策を忘れてはならぬ。要は今日の經濟生活上多少景氣の振不振は免れ得ない所である故、最低の生活を容易ならしめ、自由な就職機會の確保と就職能力を維持し就職難に際しても希望を失はしめざる様に國家の經濟政策、教育政策、社會政策を轉換せねばならぬと思ふ。

今日の知識階級の就職難は希望を失はしめ國民思想を險惡ならしめ、更に其の生産的精力を浪費して居るので個人としても國家としても有形無形の損失は如何に莫大であるか判らぬ程である。然して實際彼等知識階級は、其の理智と權威感から失望せんとし乍らも尙希望を失ふまいと努力するのである。依つて、今日の如き狀勢にして尙頼りかつか、夫れは國家社會の健全な發達に影響すること極めて甚大であり特に深甚なる考慮を要する處である。而して我が國の凡ゆる人口が此の問題に注意し、各方面から綜合的に其の對策を講ずる非ざれば實設を期し得ないのである。吾人は今日唯唯くまで共同社會の一員であり如何なる苦痛も、来る可き社會の爲め忍従に忍従を重ね同じ歴史と感情を有する國民と共に苦しむ事を諒しして此の試練に希望を持つて行き度いと思ふふ丈けである。

### 國定教科書に現はれたる

#### 職業問題——職業指導

赤 阪 連 藏

その一、少年職業指導の季節となり、全國二百二十五職業紹介所の熱心なる所長、所員の各位は是等の聯絡小學校二千八百三十五校と提携して協議に講演に、いとゞ秋の日の短かさを感ずることであらう。さて學校と提携協力せんとする以上は、學校教育教授の出発點である國定教科書を、職業指導の見地から一應調査考究して置く必要がある。私は以上の見地からの参考資料として、國定教科書に現はれて居る職業問題——職業指導を論評し見る。

(希望。どうぞ小學校、上級學年國定教科書を前に置いて本文を讀まれたい。)

尋常小學校國語讀本卷十二、第十二課 小さなねち本課は「小さなねちの職業使命の發見」で、職業指導上尤も重視すべき教材である。其の概要を説明すると、

一、自己の職業使命を發見せざる前の煩悶 (時計屋の仕事臺の上で。)

○周囲のものは、皆、自分よりは大きく、自分よりはえらさう。

○自分は何といふ小さい情ない者であらう。

○自分だけが此のやうに小さくて、何の役にも立ちさうがない。あゝ何といふ情ない身の上であらう。

二、我が職業使命發見の歡喜。

(仕事臺の隅の陰にころがつて居て、時計師の話の聞いて。)

○ねちが無い。誰だ、仕事臺の上をかき廻したのは。

○あゝいふねちはもう無くなつて、あれ一つしか無いのだ。

○あれが無いと町長さんの懐中時計が直せない、探せ、探せ。

(ねちは之を聞いて、飛上るやうにうれしかつた。職業使命發見の歡喜。)

三、愈我が職業使命の立證。

(ねちが懐中時計の機械の穴に。)

今まで死んだやうになつてゐたのが忽ち愉快さうにかち／＼と。

○自分が此處に位置を占めたために、此の時計全體が再び活動することが出来たのだと思ふと、うれしくてうれしくてたまらなかつた。

(時計師が町長さんに懐中時計を手渡し) て話した時

○「自分もほんたうに役に立つてゐるのだ」と心から満足した。

少年時代の末期より青年時代に亘つて人生には性的煩悶以外に更に強烈なる煩悶がある。それは我が職業使命を知らうとする悶である。折角天の恵みに依つて生を棄けた我れである。何か人らし



き仕事をして死にたい。我が魂を打込む、我が心血を注ぐ、我が一生、一代を捧げる事業は何かと煩悶する。是れが爲に或は絶食し徹夜して考へる。或は深山に登り幽谷に臥して考へる。愈々悶えては心にもない不行跡をする。甚しきは出奔する。自殺する。悉達太子は此の煩悶を解決する爲に檀那ベテロはカンマニヤの谷に於て此の悶えを解決した。

私はかうした男女青少年期に於ける煩悶を「職業使命発見の悩み」と見る。  
ベテロに於ける職業使命の啓示者がエース其の人である如く、我が教へ子の職業指導者は其の教へ親である教師であらねばならぬ。即ち、本課「小さなねち」を教授せんとする教師は是非此の精神態度を持たねばならないのである。

○「諸國の聖地を拜み巡つた」と云ふ所に非凡の若僧神海の「我が使命発見の爲に。其の悩み解決の爲に」と云ふ精神がはたらいて居る。○遂に聖地の青のくさり戸で、我が職業（或は事業）使命を発見した。

二、彼の職業使命感、昔から青くさり戸を渡らうとして水中に落ち、命を失つた者が幾人あつたか知れない。……と幾多のあはれな物語を耳にして。  
○たとへ何十年かゝらばかゝれ、我が命のある限り、一身をさしつけて此の岩山を掘抜き、萬人

の爲に安全な路を造つてやらうと、神佛に堅くちかつて。

三、其の實行。努力の繼續。  
○神佛に祈願。  
○口に經文を唱へ、あらゆる迫害を物ともせず。三十年の間ハンマーを奮ふ。  
○百餘間の洞門。川に面した方には處々にあかり取の窓さへ添へて、……立派に出来上つた。

右の如く本課の重要點は職業使命の発見（前二）と職業努力の繼續（前三）にある。此の職業努力の繼續と云ふことは我が民族の大発展とせられてをる所で、日清、日露その他の戦争殊勲者でありながら、平時の職業努力に敗北して當時の恩給年金を入質した人も數あると云ふ話を聞いて居るが、我が民族は瞬間の、或は一時的の奮闘には耐へるけれども、三十年、五十年と云ふ永続の奮闘には堪へ得ない氣性を持つて居る。職業成功の最大必要條件たる努力の繼續を、本課神海和尚に依つて大に高調したい。

尋常小學讀本卷十一、第十課 若僧に呈す  
本課は最も時代に適合した職業指導の教材である。  
○此の手紙の作者である小山文太郎は今は東京の呉服小賣商店の小店員であるが、此の三月までは村の小學の尋常六年生で大井先生の教へを受けて居つたと見る。  
○小山少年は本文の作者である以上、六年の秀才優等生であつたと見てよい。

○學友は中等諸學校に入學する。自分も内心その方面に希望があつたが、境遇が許せないの

で泣く／＼も上京、呉服店に奉公したと見る。

○上京する時、學校や恩師大井先生に御暇乞に出ようと思つたのではあるが、不思議に肩身狭いやうな感じがして、學校や先生邸の玄関が高いやうな感じがして、果さなかつた。  
○上京後果して學校や恩師に濟まない／＼の感じが湧いて来る。

○在學當時、學習活動の旺盛なりし自分、恩師の信望厚かりし自分を想起するが、又忽ち、もう今は他所に出た奉公人だ、恩師大井先生の御心には忘れられたらうと暗い心になる。  
○不安な呉服店の奉公が追々と解つて来る。恩師や主人からもだん／＼と信用されて来る。恩師大井先生の教訓がたへず我が心の底にはたらいで居るやうな感じがする。

○恰も先輩の上田君（同郷同校の先輩で矢張東京百貨店に奉公。五月初め四五日歸郷したと見るも可）が郷里から来て、「君、大井先生はな、小山はどうしてゐるだらうか。と言はれたよ」と云つた。  
○見る／＼小山少年は熱い涙で曇つた。兩の足に其の涙が落つて来る。  
○其の夜（五月六日の）彼は朋輩の寝静まつた眞夜中に、萬年筆を走らせて書き綴つたのは思慕する恩師大井先生に送くる此の手紙と見る。

○大井先生の變らぬ恩愛——職業指導に依つて遂に小山少年は呉服商として立派に成功するかと考へる。  
順か大正十五年の十月と思ふ。「一人娘を殺して老

小使の絶死」と云ふ一新聞記事が、當時世人の非常なる同情を曳いてあつた。それは東京府下中野に住み某傳染病院に永らく勤むる六十餘歳の模範小使。早く妻に死なれて後は其の忘れ片身である一人娘を掌中の玉と育てた。  
「あなたのお父さんは傳染病院の小使さんね。微菌が附いて居るでせう、あなたの着物にも。私、あそべないわ。同級生の此の心ない言葉は漸く尋常五年になる此の娘にはとても耐へられない苦痛であつた。」「お父さん、どうかお願ひですから、傳染病院の小使はよして下さい。」と毎夜、老父に哀願するのであるけれども、不景氣つづきの今日、此の老いの身に、此處をよして他に就職の口はあらうか。愛な娘の願ひは何でも通へてやりたい。「あゝよし／＼。」とは言ふものゝ此の事ばかりは、どうにもならなかつた。  
三日行つては二日休み、五日行つては十日休み、随分まづい成績を見せて五年は終へた。六年の新學期からはばつたりと學校に行かない。それは行つて學友より最大の侮辱を聞くに堪ひなかつたからであらう。是れより娘の心細い生活は續く。春も悲しく過ぎ夏もつまらなく暮して、いと淋しい秋を迎へた。十月二十三日の朝まだき、打上げられた煙火の音は未だ寢床にある此の父娘の耳にも聞えて来る。「あら、お父さん、今日は靖國神社のお祭ね。私行つて見たいわ。」「あゝ行け／＼。行つてゆつくり心の憂さを解らせ。」と父は心から喜んで賛成して呉れた。

父の出動を見送つた娘は、久振り晴れ／＼した心持になり、靖國神社へと出かけた。悲しく拍手を打つて神殿に頼いた。秋空高く舞ゆる大鳥居がゆかしくすすつて見ゆ、仰いで見ゆ、唯だわけもなく無心になる。ふと群衆の聲に氣付いて、植込みの裏道に這入ると、圓らずも久しく見なかつた同級生が来た。「あら、しばらくで逢つたわね。どうして學校に來ないの。お父さんはまだ傳染病院の小使さんなの。」と十四五人の心ない同級生から包圍された。娘は半ば逆上の氣味となつて駈出し我が家に歸つた。今日は何時になく用事の多く、夜更けて歸つた老父は座敷に泣伏す娘に驚き。勞はり慰めて問へば、唯だ「お父さん、どうぞ傳染病院の小使は腹めて下さい。」と哀願するばかりである。あゝよし。今度こそは、と父は然諾する。娘は如何にも安心せしものゝ如く老父の膝に眠つてしまつた。  
しばらく愛娘を見守つて居た老小使は「たとへ老妻れでも、此の父が附いて居てさへ、娘はかうも世間様から虐待される。若し自分が死んだら、娘はどうされるだらう。」と考へては熱い涙が止めどなく流れて来る。「あゝ不運な娘の天國は此の世には無い。いつそ、一思に娘を天國に連れて行かう。」と、遂に此の慘劇を敢てなしたのであつた。

尋常小學讀本卷十一、第二十一課 勇ましき少女  
本課は少女グレース・ゲーリソグがかねて燈臺守と云ふ父の職業に理解を持ち、其の業を身習ひ、遂に父を助けて難破船員を救命したと云ふ職業指導上、見逃がすべからざる貴い教材である。  
先づ本課を一讀して見ると、少女ゲーリソグのホトナ滑ぐ技の非凡なるに驚く。即ち職業指導は此處に着眼し、此處に出発しなければならぬ。  
○父職業に對する理解  
×世に洋山の職業がある中で、お父さんは燈臺守だ、えらい。航海する人の生命を護り、船の羅針盤となる職務、あゝ私のお父さんの職業は豪い、貴い、重い。  
×あゝお父さんに職務を究うさせたい。お父さんに職業を立派に果たさせたい。  
○父職業の身習ひ。  
×父職業に對する理解、希望は、何時とはなしに父職業に對する熱心なる身習者となつたことを考へる。  
×人間業とも見えざるボートの操縦。是は決して偶發の膽なのではない。僅か十三四歳の少女にかくまでに練達された膽が如何にして研かれたかを考へなければならぬ。  
×父職業の重大を知つて以来、彼の少女は、朝な夕な天氣、海洋に注意することを忘れない。  
○父を助けて難破船員の救命。

×お父さん、今夜は嵐ですね、私、心配でな  
らない。  
×お父さん、私とても眠れない、なんだが神  
から人の叫び聲が聞えて来るやうです。  
×あれ、確かに人の聲です、私、海岸に行つ  
て見えます。

四五回行つたけれども、暗黒の空模  
様でどうにもならず、夜明けを持つ。  
夜明けが見れば、裸岩に難破船、其の  
帆柱には息も絶へずの船員等が。  
×お父さん、ボートを出して救ひませう、早  
く。  
×父は娘のやさしい心に動かれて、  
×娘は父の胸を掴み、父は娘の胸を掴み、二  
人は死力を盡して荒波にボートを逃めた。  
×からうじて難破船に滑着けた。父は半死半  
生の船員等をボートに助け移す。  
×此の間、岩にも當てず、波にもまかせず、  
巧にボートを操つて居た少女の情は、人間  
業とは見えぬ。

此處、不斷に於ける父職業の理解、  
職技身習の結晶、結果と見なければ  
ならない。  
×父娘はまた有らん限りの勇氣を奮つて岸べ  
に着く。  
×少女グレースは、今ややさしい乙女にかへ  
つて看護、船員等は数日にして回復、再生  
の恩を謝して去る。  
○グレース一家の職業成功。

進歩向上を考へる所に柿右衛門の豪らさが  
ある。  
○我が職業使命に向つて努力の繼續。  
×毎日働いてはくどきくどき……歎息。  
×追々其日の暮しにも困つて来る。  
×主人柿右衛門を見限つて手傳人——弟子共  
は皆逃げた。  
×人々のあざけり、罵り。  
○柿色焼出を發見前後の熱狂、狂喜。  
×薪は無い。……  
×血走つた目……「よし」と叫んで火を止め  
た。  
×一夜甕の前を離れないで、もどかしさう  
に夜の明けるのを待つて居た。  
×一番薪の聲を聞いてからば、もうじつとし  
て居られない。胸ををどらせながら甕のま  
はりぐるぐる廻つた。  
×夜は明けた、彼はふるふる足をふみしめて  
甕をあけにかゝつた。  
×一つ又一つと甕を出してみたが、不意に  
「これだ」と大聲。  
(柿色焼付の發明、職業使命の達成。)

本課陶工柿右衛門の如きは教授する教師も、學習  
する児童もあくまで眞實でなければならぬ。  
尋常小學讀本卷十一、第二課 義人吳風  
本課は吳風が身命を抛つて官職を完らしたと  
で、職を持つての人の活教訓である。  
○吳風の職業

×生家に程近い寺院の境内には、父の職業を  
完らせしめた少女グレース、グレイソンの  
銅像。  
×少女グレイソンの喜び、それにも増した父  
の喜び。

尋常小學讀本第五課 辻音楽  
本課は職業技術の熟練と不熟練とを對比し、職業  
少年の反省に資した教材と見る。

○對比されたる職技はバイオリン。  
○其の不熟練者は老衰の辻音楽師。  
ワイソンの大公園の夕暮れ。祭りの大衆を  
當て込んでバイオリンを弾く。其の拙い音、  
時代をしの曲には誰一人耳を貸さない。犬は  
古帽子をくはへて、哀れな主人の爲に、聴衆  
の喜捨を待ちわびて居る。  
○熟練者、フランスの名手 アレキサンデル・  
ブーシェ。  
「ちよつと貸したまへ」と、其のバイオリン  
を取る。弓が一度絃にふれると天上の音楽の  
やうな妙音が。老音楽師の驚き。聴衆の歡喜  
共鳴。金銀貨は古帽子より袋へと幾度もかへ  
られる。オーストリアの国歌を弾くと聴衆は  
熱狂して合唱。  
○兩者の青少年時代を想起する。  
×前者の青少年時代、我が一生一代を託さな  
ければならぬ職業の選擇に無謀にも淺慮  
輕卒であつた。更に生命にも換へがたい我  
が大事な職業を茶化して渡つて来た。

今から三百年程前阿里山毒の通事。  
(通譯、租税取立、その他色々の政治を  
やる支那當時の官職)  
○我が職業使命の發見  
×毒人が大暴動を起し、前任通事始め多數の  
支那人を殺した翌年赴任。其の赴任後の苦  
心。  
×毒人の首取の悪風をやめさせたいと決心。  
(我が官職に對する使命發見と見る)  
○此の職業使命達成までの努力の繼續  
×去年の暴動に取つた四十餘の首を年々一つ  
づつ祭に供へること。それが無くなつたら  
更めて相談すること。約束した。  
×吳風は情深く。至誠公平を以て職に當り、  
それ故に人望年々加はり毒人から親の如く  
慕はれた。  
×約束の四十年が過ぎ、更に説諭三年。然る  
に四年目にはどうしても人首を取ると毒人  
から言張られた。  
×終に吳風は一族人の風をして毒人等に我が  
首を上げさせた。  
○吳風は死んで我が職業使命を果した。  
×取つた首は吳風と解つて毒人等は泣いて後  
悔した。  
×阿里山毒人は吳風が生前の徳を慕ひ、大恩  
人を殺した罪を恐れ、其の靈を神に祭つた。  
×以來今日に至るまで人の首を取らない。  
「これまでながい間手を盡くしても、まだ彼等を  
教化することが出来ないのは、自分の徳が足らな

いのだ。いよ／＼最後の手段をとるべき時が来  
た。」と云ふ此の決心を考へたい。  
响職は貴い。更に吳風の如く四十餘年間、赤誠を  
捧げ、尙ほ、其の上の响職は一層貴い。阿里山毒人  
は此の精神を神に祭つた。吾人また此の心を神と  
考へざるを得ない。長岡陸一郎氏は著書「世界の動  
き」に吳風を評して「我が植民地の官吏に吳風の精  
神を持たしめたい。」と論ぜられたが、私は更に一  
歩を進めて世の職業者、校門より放たれんとする  
百萬求職少年に皆此の吳風の精神を植付けたい。

### 資料

#### 傳給生活者職業紹介取扱成績 (八月分)

全國職業紹介所中傳給生活者に對する専門部の設  
置しあるは七ヶ所にして其の報告に依り八月分取  
扱成績を概観するに左の通りである。

一、取扱概況			
	男	女	計
求人	一七四	九四	二六八
求職者数	六三九	二九〇	九二九
紹介件数	二五九	七八	三三七
就職者数	一一二	二九	一四一
求人數に對する求職者數の割合			

本月 三四六・六% 前月 五一三・三%

×後者はバイオリンに對して我が天才を自認  
しつゝも何れ此の職業選擇に慎重熟慮をし  
た。一旦、已れの職業が決定してからは我  
が心血、我が生命を是れに傾注した。  
帝都下の公園に放浪する無職者、或は全國各都市  
に群がる自由労働者中の大半は本課、辻音楽師の  
如き職業過程を歩んで来た人々ではなからうか。  
我が大切な教へ子をば、此の轍を踏ませたくな  
い。陶工柿右衛門の如く義人吳風の如く、或は堀  
田瑞松(高等小學讀本卷二、第二課)の如く、己  
が一生一代を我が職業に捧ぐる人に導きたい。  
尋常小學國語讀本卷十、第九 陶工柿右衛門  
本課は陶工柿右衛門の職業苦心で、職業指導上、  
貴い價値を持つて居る。  
○陶工柿右衛門。  
三百年前右衛門に生れた、古今の名工、  
西洋にも聞えて居る、元、喜三右衛  
門と云つて居つた。柿色焼出を思立  
つてから六年目に成功。  
○窯場から出て来て、線先に腰を下して疲れた  
體を休めた。  
(其の日の職業努力をたつぷりと見せ  
て居る。  
○ふと見上げると柿の實が夕陽に輝いて珊瑚  
珠の美しさ。あゝ、あの色を焼付けて見た  
い。  
×此處を「我が事業——我が職業、使命の發見」  
と見る。  
×一寸の塵ひにも僅かの見聞にも我が職業の

求職者数に対する就職者の割合

之を前月に比較するに多少持ち直した感がある  
 概で求人数に於て三二人の増加を示したるも求  
 職者数に於て二九三人の減少を見求職率に  
 低下したが就職率は少く上向して居る。

二、需給関係其他

八月分求人九二八八人、求職者九二九人、就  
 職者数は一四一人である而して今月末未紹介  
 求人数は九八八人(前月五〇人)にして未紹介求職  
 者数は一、六三三人(前月一、九一四人)である。  
 求人数の主なる者は商會社(五三三人)を首とし  
 て個人商店(五二二人)新聞雜誌社(二五五人)官公署  
 (二三人)等とす。  
 求職者の希望職業の主なるものは商會社(三  
 〇二人)最も多く個人商店(二一六六)工業會  
 社(八〇八)官公署(六六六)等之に強げり。  
 求職者の多きは中等學校卒業及同程度以上の者  
 七三二人(男四五六六、女二七六六)を最高とし  
 専門學校卒業及同程度以上の者一八八人(男一  
 一四八、女四八八)大學卒業及同程度以上の者二〇  
 一人(男子のみ)之に強く。  
 尙就職先の主なるものは個人商店の四一人商會  
 社の一四一人官公署の一二人とす。  
 而して其の就職當時の給料を見る大學卒業及同  
 程度以上の者は最高七〇圓最低四〇圓専門學校  
 卒業及同程度以上の者は最高六〇圓最低三五圓

中等學校卒業及同程度以上の者最高九〇圓最低  
 二〇圓其他は最高四五圓である。  
 八月中の取扱状況を業態別に示せば左表の通り  
 である。

業態別	求職者数		就職者数		求職率		給料	
	求職者数	就職者数	求職者数	就職者数	平均	最高	最低	
官公署	三三	六	一三	一〇	三三	四〇	四〇	
銀行	一	一	一	一	一	一	一	
保險會社	三	一	一	一	一	一	一	
商會社	五三	三〇	二五	三	二五	三〇	三〇	
工業會社	三	六	六	七	七	七	七	
工業會社	一	一	一	一	一	一	一	
個人商店	二一	一四	一四	八	一四	一四	一四	
工場	五	一〇	一〇	一	一〇	一〇	一〇	
學校	三	三	一	一	一	一	一	
新聞雜誌社	二五	一五	一五	三	一五	一五	一五	
其他	三	三	三	三	三	三	三	
計	二六	九二	二二	九一	八三	八三	八三	

職業紹介聯絡取扱成績 (八月分)

第一次求人聯絡日報

指定職業紹介所十三ヶ所中聯絡日報の發行な  
 りしもの七ヶ所(南館市、宇治山田市、京都市  
 中央、岡山市西大寺町、廣島市東松原、高知市、  
 下關市各職業紹介所)。

求 人 数 七、七九三人 男六、三一六人  
 女一、四七七人  
 求 人 口 数 三、九七六  
 求 人 数 三、九七六  
 求 人 口 数 一、四七九人 男一、三二二人  
 女一、一五七人  
 就 職 者 数 五〇一人 男 四七五人  
 女 二五人  
 求 人 数 に対する 紹介状交付数の割合  
 本月 前月  
 一八・九七% 二二・八〇%  
 六・四三% 一〇・一五%  
 紹介状交付数に対する就職者の割合  
 三三・八八% 四二・六三%

第二次求人聯絡日報

指定職業紹介所三十三ヶ所中聯絡日報の發行な  
 かりしもの二十一ヶ所(横濱中央、宇都宮市、  
 甲府市、長野市、米澤市、仙臺市、新潟市、盛  
 岡市、青森市、名古屋市中央、津市、岐阜市、  
 金澤市、大阪市中央、京都市中央、神戸市中央、  
 岡山市西大寺町、廣島市東松原、高知、福岡、  
 宮崎市各職業紹介所)。

職業紹介所労働賃銀立替状況 (八月分)  
 市町村立職業紹介所労働賃銀立替状況

主 體 別	取 扱 所 数	立 替 額		回 員 金 額		備 考
		人 員 数	金 額	人 員 数	金 額	
東 京 市	六	九、五八八	一、二二八、二八八	八七、五三三	一、七三三、五五五	東京市、事業局、復興局、通信局、市土木局、市港灣部
横 濱 市	一	九、七一一	一、九四二、一七	二、一四六、四六	二、一四六、四六	札幌市、市土木局、市港灣部
札 幌 市	一	二、五九九	二、八八四、三	二、七五五、五	二、七五五、五	札幌市、市土木局、市港灣部
小 計	八	二一、八五八	二、四八八、三	一、一四七、七二	一、一四七、七二	
前月小計	八	二〇、七七五	一、八二二、六四六	九一、九三三	一、四九七、七二	
大 阪 市	一	一〇〇、〇〇	一、八六六、六	一、八六六、六	一、八六六、六	大阪、水道部
神 戸 市	二	一、六七四	一、六八九、〇	一、六八九、〇	一、六八九、〇	神戸市、市土木局、市港灣部、三浦造船所、神戸市、市港灣部
小 計	三	一、六七四	一、六八九、〇	一、六八九、〇	一、六八九、〇	
前月小計	三	一、七三三	一、七三三、七	一、七三三、七	一、七三三、七	
名 古 屋 市	二	八、二八八	一、一三三、六四	三、〇三三、八七	四、三三三、八七	名古屋市、事業局、市土木局、市港灣部、名古屋、市土木局、市港灣部
前月分	二	六、六四〇	九、〇六八、七	六、二六六、一七	八、六六六、一七	
三 局 合 計	三	一、四三三、六	一、四三三、六	一、四三三、六	一、四三三、六	
前月小計	三	一、四三三、六	一、四三三、六	一、四三三、六	一、四三三、六	
前月小計	三	一、四三三、六	一、四三三、六	一、四三三、六	一、四三三、六	

市町村立職業紹介所以外の労働賃金立替状況

業種	取扱	立替		備考
		人	金額	
大阪府労働共済会	三	一四、八〇一	二五、〇五五・五五	二四、五七五・七五
前月分	二	一四、〇四五	二五、六四八・八四	一五、八五〇・四四
二局合計	四	二八、八五六	五〇、七〇四・三九	四〇、四二五・一九
前月分	三	一四、〇四五	二五、六四八・八四	一五、八五〇・四四
前月分	二	一四、〇四五	二五、六四八・八四	一五、八五〇・四四
前月分	一	一四、〇四五	二五、六四八・八四	一五、八五〇・四四
前月分	一	一四、〇四五	二五、六四八・八四	一五、八五〇・四四

大阪市労働共済会事業成績 (九月分)

一、傷害共済  
加入人員一六、二五六人 平均一日五四一・八八人にし  
て治療費人員七人 金額一〇〇圓六〇錢一人平均一  
四圓三七錢に當つて居る。  
一、健康及信用共済  
加入人員八九九人にして 總計二、六八二人にな  
り 移動人員格及脱退は繰越五、五一三人 本月份七  
〇四人で 結局六、二七人 再加入の繰越八六九人  
本月份一〇四人で 結局九七三人 尙書費は人員二  
〇人にして 金額一二二圓二七錢一人平均六圓十一

賃金手当人員一六人にして 七七圓五〇錢一人平  
均四圓八四錢補償金は一人にして五〇圓である。  
職業紹介状況 (七月分)  
主要地に於ける無料船員  
賃金手当人員一六人にして 七七圓五〇錢一人平  
均四圓八四錢補償金は一人にして五〇圓である。  
通信省管船局の報告に依れば 東京、横濱、大阪、  
神戸、門司、下関、若松、戸畑、長崎、函館、小樽  
に於て取扱ひたる七月分成績左の通りである。  
求人 数 前月未済 二、二二七  
求職者 数 前月未済 一、六三五  
求職者 数 本月受 三、四八七  
就職者 数 本月受 二、一八八

未済求人 一七人  
未済求職者 一、五八二人

十三都市卸賣物價概況 (八月分)

昭和三年八月に於ける十三都市卸賣物價指數(大  
正十年乃至十二年の全三箇年平均價格を一〇〇と  
し 單純算術平均の方法に依り算出せるもの)は總  
平均八七・二にして 前月と保合を示し 調査品目五  
十六種中前月に比し 騰貴せるもの二十四品、低落  
せるもの十八品、保合のもの十四品なり、而して之  
を十三都市別に觀れば 平均指數の最も高きは金澤  
の九〇にして 横濱及福岡の各八九仙臺及小樽の各  
八八大阪、神戸、京都、新潟及高知の八七名古屋  
及廣島の各八六東京の八五の順序にして 又之を八  
大分類別に觀れば 平均指數の最も高きは穀類の一  
〇七・九にして 雜類の一〇〇・八調味及嗜好品の九  
五・一肉類の八五・八肥料燃料の各八二・八衣料品  
の七八・二順序之に亞ぎ其の最も低きは 建築材料  
の七五・七なり、然れども之を各其の前月に比較す  
れば 穀類は四分五厘肥料一分二厘雜類は八厘調味  
及嗜好品は三厘の各騰貴を示し之に反して 肉類は  
七分二厘衣料品は一分四厘建築材料に一分燃料は  
二厘の何れも低落を示せり、尙本月の總平均を前  
年同月に比較すれば保合に當る。  
十三都市別卸賣物價指數比較

都市別	本年八月	本年七月	前年八月
東京	八五	八五	八五
大阪	八七	八七	八六

海外關係事項月報

一、フィリピン職業紹介法其他

(一) 職業紹介法  
一九二六年三月二十七日發布  
第一條 本法ニ謂フ職業紹介事業ヲ行フ事ヲ得ル  
ハ市町村及私設團體トス  
私人、會社及ヒ合名會社ハ營業トシテ職業紹介  
事業ヲ行フコトヲ得ス  
職業紹介ハ之ヲ無料トス  
但シ私設團體ニシテソノ會員ノモノノ職業紹介ヲ  
行フ場合第十三條ノ規定ニヨリ許可ヲ受ケタル  
時ハ認可セラレタル額ニヨリ會員ヨリ手数料ヲ  
徴收スル事ヲ得  
第二條 國勢調査ニヨリ人口五千以上ニ達セル都  
市ハ職業紹介所ヲ設置スルコトヲ要ス  
第一項ニヨル人口ニ達セサル都市市場町及ヒ村  
ハ必要ヲ認ムル場合職業紹介所若シクハ職業紹  
介所支所ヲ設置スルモノトス  
都市ニ近接セル村内ノ一區域及ヒ財政上併合セ  
ル以上ノ市町村ニシテ職業紹介所設置ノ必要  
見取ナル場合ハ社會省ニ於テ當該地方當局ノ意  
設置及ヒ維持ヲ命スル事ヲ得コトノ場合ニ於ケル  
經費ノ負擔額ハ關係市町村ノ毎年度初ニ於ケル  
人口數ニヨルモノトス但シ社會省ニ於テ特ニ定  
メタル場合ハコノ限りニアラス  
第三條 第二條ニ規定セル以外ノ市町村ニシテ單  
獨若シクハ共同ニ職業紹介所若シクハ職業紹介所

十三都市貨銀概況 (八月分)

昭和三年八月に於ける十三都市貨銀指數(大正十  
年乃至十二年の全三箇年平均貨銀を一〇〇とし 單  
純算術平均の方法に依り算出せるもの)は總平均  
一〇一・六にして 之を前月の一〇一・五に比較すれ  
ば一厘の昂騰に當り 調査種類五十二種中前月に比  
し 昂騰せるもの十九種、低下せるもの十六種、保  
合のもの十七種なり、而して之を十三都市別に觀  
れば 平均指數の最も高きは横濱の一〇七にして 東  
京の一〇六仙臺の一〇四大阪、小樽及高知の各一  
〇三新潟の一〇二京都、名古屋及金澤の各一〇一  
福岡の九九廣島の九六神戸の九五の順序にして 又  
之を十二分類に觀れば 平均指數の最も高きは印刷  
製本業の一〇九・〇にして 漁夫の一〇八・七下男  
及機械器具工業の一〇三・八木竹類に關する製造

業の一〇三・二繊維工業の一〇二・四土木建築業  
の一〇〇・七化學工業の九九・四窯業の九八・六被  
服及身用品製造業の九七・七順次に之に亞ぎ其の最  
も低きは 仲仕及日傭人夫の九四・〇なり、然れども  
之を各其の前月に比較すれば 漁夫は三分五厘、印  
刷製本業は二分三厘、繊維工業は二分一厘、化學  
工業は七厘、飲食料品工業は二厘の各昂騰を示し  
之に反して 被服及身用品製造業は二分三厘、窯業  
は一分四厘、木竹類に關する製造業八厘、下男及  
下女は五厘、土木建築業は三厘、金屬及機械器具  
工業は二厘の各低下を示し 仲仕及日傭人夫のみは  
保合を示せり、尙本月の總平均を前年同月に比較  
すれば一分の昂騰に當る。  
十三都市別貨銀指數比較

都市別	本年八月	本年七月	前年八月
東京	一〇六	一〇六	一〇三
大阪	一〇三	一〇三	一〇三
神戸	九五	九五	九五
京都	一〇一	一〇一	九九
名古屋	一〇一	一〇一	九九
横濱	一〇七	一〇六	一〇五
廣島	九六	九七	九六
金澤	一〇一	一〇二	一〇二
小樽	一〇三	一〇四	一〇二
福岡	九九	九九	九九
新潟	一〇二	一〇一	一〇〇
高知	一〇三	一〇二	一〇七
總平均	一〇一・六	一〇一・五	一〇〇・六

支所ヲ設置スル場合ハ本法ノ適用ヲ受ケルモノトス

第四條 相當數ノ船舶出入アル都市ニシテ社會省ニ於テ當該市町村ノ意見聴取ノ上決定ヲナシタル場合ハ其職業紹介所内ニ船員職業紹介専門部ヲ設置シ專門的知識並ヒニ經驗ヲ有スル主任職員ヲ置クコト要ス

前項以外ノ沿海都市ニシテ海員事務所アル場合ハ海員ノ職業紹介ハ海員事務所管理職者ノ行フコト場合ニ於テハ市町村職業紹介所職員ニ關スル規程ノ適用ヲ受ケルモノトス  
海員事務所管理職者ハ第一條第三項ノ規定ニ係ラズ特別法ノ規定ニヨリ海員登錄手数料ヲ徵收スル權利ヲ有ス

第五條 市町村職業紹介所及ヒ職業紹介所支所ニ關スル訓令ハ當該市町村會ニ委任ニヨリ社會省ニ之ヲ發令スルモノトス

第六條 市町村會ハ雇主及労働者各同數ノ職業紹介委員ヲ任命スルコトヲ要ス之カ選任方法ハ關係雇主並労働者ノ各團體ヨリ候補者ヲ推薦セシメ之ニヨリ任命スルモノトス市町村會ハ別ニ議長ヲ任命スルコトヲ要ス委員ノ補缺選任方法モ亦之ニ從フ

市町村職業紹介所ニ船員職業紹介専門部附設セラルル場合ハ同部ハ船主並船員各同數ノ代表者ヨリ或ハ諮問委員會ノ直屬トシ諮問委員會ノ議長ハ職業紹介委員會議長之ヲ兼任ス諮問委員會ノ委員ハ職業紹介委員會ニヨリ任命セラレ會ノ委員ハ職業紹介所及職業紹介所支所ハ其區域内並ニソノ附近ノ雇主條件ニ關スル報告ヲ

蒐集シ雇主及ヒ求職者ニ之ヲ知ラシメ雇主契約締結ニ資セシメ及ヒ労働市場ニ於ケル需要供給ヲ明カニスルニ努ムル事ヲ要ス

第八條 市町村職業紹介所及職業紹介所支所ハ労働争議ニヨル事業閉鎖ノ場合ニ何等特別ノ處置ヲナササル事ヲ要ス但シソノ争議ノ性質並範圍ノ特殊性ヲ究メ求人者ニ同争議ニ關スル報告ヲナサズ要ス

第九條 市町村會ハ職業紹介所及職業紹介所支所ヨリノ労働市場ニ關スル報告ヲ適當ナル場所ニ揭示シ職員ヲシテ之ヲ周知セシメル事ヲ要ス

第十條 市町村職業紹介所及職業紹介所支所間ノ共同ハ秘密院ノ規定シタル組織ヲ以テ之ヲナスモノトス但シコノ場合ニ於テハ市町村ハカナル共同ニヨリ生セル經費支辨ノ責ニ任セズ

第十一條 社會省ハ市町村職業紹介所及職業紹介所支所ヲ適當ニ組織スルニ必要ナル規則ニ關スル細則ヲ定ムル事ヲ得

第十二條 市町村職業紹介所及職業紹介所支所ハ同地方就職者一人ニ付五マルク他市町村就職者一人ニ付二五マルクノ割合ニテ國庫補助金ヲ受ケルモノトス法律若シテハ同法律ニヨル當該監督官廳ノ發シタル指令ニ對シテ違反行爲アル場合ニ於テハ補助金ハ減額若シテハ支給セラレザルコトアルヘシ

職業紹介事業ヲ行フ各種團體間ノ協同ヲ指導並ニ促進スル義務ヲ有ス

第二條 職業紹介所ニ關スル本令ノ規定ハ職業紹介事業ヲ行フニ必要ナル許可ヲ受ケル私設團體ニ屬スル各職業紹介所ニ適用セラルモノトス職業紹介所支所ニ關スル本令ノ規定ハ職業紹介法ニヨリ職業紹介事業ヲ行フ海員事務所管理職者ニ適用セラルモノトス

第三條 市長若シテハ知事、私設團體ノ職業紹介事業經營ニ關シ許可ヲ與ヘタル時ハ選擧ナク職業紹介所監督官ニ之カ通知ヲナシ同時ニ左記ノ事項ヲ通報スル事ヲ要ス

一、團體名稱及其事務所  
二、其經營ニ屬スル職業紹介所ノ名稱及所在地  
三、職業紹介所長名  
四、取扱ハントスル職業種類  
五、會員ノミニ職業紹介ノ目的トセルモノナリヤ否ヤノ別  
六、會員ノミニ目的トセル職業紹介所ナルトキハ手数料ノ有無及ソノ額  
前項ノ事項ハ職業紹介所經營ニ關スル許可ノ更新セラルル毎ニ通報スルヲ要ス

理者ハ秘密院ノ定メタル規則ニヨリ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ノ交付ヲ受ケルモノトス

必要ニ應ジ普通以上ノ經費ヲ要スル特別専門部ヲ設置セル市町村産業紹介所モ亦同一ノ條件ノ下ニ調査ヲ經テ補助金ノ交付ヲ受ケルコトヲ得

私設團體ノ經營ニ係ル職業紹介所モ亦國庫補助金ヲ交付セラレモノトス

職業紹介所及職業紹介所支所補助金交付ニ關スル細則ハ秘密院之ヲ定ムルモノトス

第十三條 私設團體ニシテ職業紹介事業ヲ行ハントスルトキハ都市ニ於テハ市廳、市場町若シテハ地方ニ於テハ知事ノ許可ヲ受ケルモノトス私設團體ハ職業紹介事業責任者ノ公民權所有者タル事及其他本事業ノ正當ナル管理職者タル事ヲ證明スルニ足ル資格ヲ有セル者ナル事ヲ明カニスルヲ要ス

私設團體ニシテ同團體ニ屬スル會員ノミニ職業紹介ヲ行ハント欲スル時ハ許可申請ニ際シ手数料徵收ノ有無及ソノ額ヲ申告スルヲ要ス申請ニ對スル判定ハ市町村會及當該監督官廳之ヲナスモノトス

本條ニヨリ許可ハソノ有効期限ヲ三ヶ年トス但シ短期限ヲ附セル申請ニ對シテハコノ限ニアラス

第十四條 職業紹介事業ハ旅店、飲食店若シテハ其他之ニ類スル營業ト關聯シテナサル事ヲ得

第十五條 職業紹介所ノ業務監督ハ秘密院之カ行使ノ義務ヲ有ス

第十六條 不法若シテハ本法ノ規定ニヨラスシテ行ハルモノナル事ヲ検査スル事ヲ要ス  
特ニ左記ノ事務ヲ行フ義務ヲ有ス  
一、職業紹介所並ニ職業紹介所支所ニ必要ナル通報、注告及指令ヲ與ヘ指令ノ履行ニ關シテ監督ヲナスコト  
二、職業紹介事務上必要ナル重要事項ニ付様式ヲ定ムルコト  
三、職業紹介所及職業紹介所支所カ一定ノ期日迄ニ週報月報ノ提出ヲナス事ヲ監督ナスコト  
四、週報及月報ニ基キテ毎週フイナラントノ労働市場ノ狀況ニ關スル報告及職業紹介事業統計ヲ編纂發行スルコト

シテ職業紹介事業ヲ行フ者ハ禁錮五十日ニ相當スル罰ヲ受ケルモノトス

第十七條 職業紹介事業ヲ行フ私設團體ニシテ不法ニ手数料ヲ徵收シ又ハ虚偽ノ報告ヲナシ若シテハ其他不當ノ行爲アリタル場合ハ裁判所ノ判決ニヨリテソノ權利剝奪セラレル事アルヘシ

第十八條 本法ノ違反ニ對スル告發ハ訴訟者並ヒニ檢事ニヨリナサル事ヲ得

第十九條 市場町ニシテソノ行政機關ヲ有スル場合ニ於テハ該機關本法ニヨリ市町村役所並ニ市町會ニ課セラレタル義務ヲ行フモノトス

市町ニシテ市町村役所ナキ場合ハ警察裁判所本法ニヨリ市町村役所ニ課セラレタル義務ヲ行フモノトス

第二十條 本法ハ一九二七年一月一日ヲ施行ノ日トス本法ニヨリ一九一七年十一月二日ノ職業紹介所ニ關スル命令ハ之ヲ廢止ス

(二) 職業紹介事業ノ監督並ニ職業紹介所及ヒ職業紹介所支所許可ニ關スル細則ヲ制定ス

一九二六年四月二十二日發令  
職業紹介事業ノ監督並ニ職業紹介所及ヒ職業紹介所支所許可ニ關スル本令ハ社會省ノ委任ニヨリ一九二六年三月二十七日發布ノ職業紹介法ノ定ムル所ニ從ヒ秘密院之ヲ發令ス

第一條 職業紹介法並ニ同附則及同法ニヨリ定メラレタル諸規定ノ履行ニ關スル監督ハ社會省ノ管轄ニ屬シ社會省労働局ノ任命ニヨル職業紹介所監督官之ヲ行フモノトス職業紹介所監督官ハ

第八條 獨立ニ職業紹介事業ヲ行フ職業紹介所若クハ職業紹介所支所ハ左記ノ義務ヲ有スルモノトス

一、他ノ職業紹介所若クハ職業紹介所支所特ニ最モ近接セル者ト協同スルコト

二、毎週所定ノ期日ニ所定ノ様式ニヨリ登録簿上ノ未就職求職者數及當該地方ノ求職者ヲ以テ充テ事ヲ得タル求職者數ヲ職業紹介所監督官ニ報告スルコト

三、毎月初所定ノ形式ニ從ヒ前月ノ事務報告ヲ職業紹介所監督官ニ提出スルコト

第九條 職業紹介所ノ指揮ニ屬セル職業紹介所支所ハ毎日其所屬ノ職業紹介所ニ其日ノ求職者求職者並就職者數ヲ報告スルヲ要ス

第十條 市町村職業紹介所ニシテ船員職業紹介所門部ヲ有スル場合ニハ職業紹介法第十二條第二項ニ依リ社會省ノ委任ニ從ヒ正當ニ就職セル者一人ニ付四十マルクヲ超エタル額ニ於テ國庫補助金ヲ交付セラルモノトス、職業紹介法ニヨリ職業紹介事業ヲ行フ海員事務所管理者ハ正當ニ就職セル船員ニ對シテハ船員ノ就職セル船舶カ當該港ニ船籍ヲ有シ、トサモ (Peasney) ナ除ク國內定期航路ニ從事セル者ナル場合ハ就職者一人ニ付十マルクノ額、其他ノ場合ハ二十マルクノ額ニヨリ國庫補助金ヲ受ケルモノトス

前項ノ補助金ヲ受ケル爲ニハ船員ハ一九二四年四月二十六日ノ船員ノ就業時間ニ關スル法律第一條ニ謂フ船員ト同意義ナルモノトス

職業紹介所力船員以外ノ者ヲ船員ニ就職セシメタル時ハ補助金額ハ職業紹介法第十二條第一項ノ一般規定ニヨルモノトス

第十一條 市町村職業紹介所必要アル場合海員以外ノ職業ニ對シテ特別門部ヲ設置シ特ニ經費ヲ要スル場合ニ於テハ調査ノ上職業紹介法第十二條第一項ノ一般原則ニヨリ國庫補助金以外ニ國庫ノ豫算ノ範圍内ニ於テ當該職業紹介所區域内就職者一人ニ對シテ二〇マルクヲ超エタル額ニヨリ特別補助金ヲ交付セラルコトヲ得

社會省ハ職業紹介所カソノ定メタル條件ノ下ニ行フ特別職業紹介事業ニ對スル補助金交付ヲ受ケル權利ヲ當該職業紹介事業ノ性質及範圍ニ關スル報告並ヒニ社會省ノ要求スル特別報告ヲ添付セル申請ニヨリ認可スル權限ヲ有スルモノトス

第十二條 職業紹介法本決議第十條並第十一條ニヨリ國庫補助金ノ交付ヲ受ケントスル職業紹介所及職業紹介所支所ハ毎年二月末日迄二前年度(曆年)ニ於ケル事務概要ト共ニ補助金申請書ヲ社會省ニ提出スルコトヲ要ス

第十三條 本決議ハ一九二七年一月一日ヨリ施行ス

職業紹介所ノ事務ノ監督並ニ市町村職業紹介所支所同ノ協同ニ關スル秘密院決議ハ之ヲ廢止ス

### 二、英國勞働者移動局の活動

本項は在倫敦總領事代理領事米澤菊二氏より外務大臣田中義一氏宛報告して來たものである。英國經濟界は大戦後一時稍好況を呈したるも一九二二年に至り極度の不振各産業を襲ひ失業者の數年百萬を下らず歴代の内閣は失業救済の爲、種々方策を講じ殊に現内閣は各自治領への

移住に對し渡航費補助額を増加して極力海外移住を奨励したるも何等顯著なる效果を奏せず世界の景況一般的恢復を待つに非ざれば失業問題の解決難とし只管財界の好轉を嚮望する所ありしが最近の數年間に於ける勞働者の就職率統計は現在の失業が殆んど炭坑造船製鐵製鋼等の基本産業に局限せられ所謂新工業が比較的好況にして就職の状態亦良好なる事實を示せしを以て漸く政府は從來一時的方便視したる基本産業失業者の他地移住又は轉業を恒久積極的且つ組織的に行ふに非ざれば到底失業問題を完全に解決せられずと思惟するに至り昨年特に勞働大臣の下に勞働者移動局 (Labour-Mobility Transference Board) なるものを設け右問題の

考究に従はしむることに決定し本年一月六日 (Sir Warren Fisher, Sir John Giddens, Sir David Shaw, Kington) の三氏を同局の委員に任命せり同局の目的として掲げられたる所は現在の居住地域又は從來從事したる職業に於て今後就職の機会なき勞働者特に炭坑夫の移動を圓滑ならしむるに在る處右委員は爾來失業中心地の實地踏査を爲し又諸官廳の資料を考察し約半歳に亘りて調査研究の結果今般其報告を政府に提出したるが右は七月二十三日一般に公表せられたり同報告は失業状態の實相を審かに解剖するものにして對野の視線を惹くこと尠からず諸新聞亦概ね右に對する論評を掲げたり本報告は單に英國失業問題の眞相を知るに便なるのみならず本邦に執りても相當貴重なる參考資料と認めらるるを以て其概要を摘録し且つ其英國並に海外各自治領に及ぼせる反響を相添へ茲に報告す

### 勞働移動局報告の概要

#### 一、緒言

失業問題は今日突然發生せしものに非ず又英國特有の現象にも非ず戦前一九〇七—八年の交に今日見るが如き程度の失業問題存せしと雖も現在の失業問題は特殊の性質を帯び勞働者中比較的一小部分のみ當時失業状態にあるものにして(一)自一九二三年十月至一九二六年四月失業保險法被保險者數一千五百五十萬其の中八百萬は全然保險金の支拂を受けず残り三百五十萬中二百五十萬は保險金の支拂を受けしも其の日數百日を超えたるものなき事實故に(二)非基本工業は何れも堅實なる發展を見つゝある一方基本工業は國民經濟上依然重要な地歩を英國産業界に於て占むるに拘はらず勞働者收容力に於て從前重要ならざるに至り三事實實に見るも明なるべし然れども失業者が全勞働者の一才部分に過ぎずとし簡單に現在の失業問題を解決し得べしと考ふるは誤謬にして過去數年間政府の凡ゆる努力が何等顯著なる效果を奏せざりしは其の有力なる證左なり吾人は不況産業に於ける過剩勞働者の移動に關する方策研究を目的とし新に「南ウエレス」東北海岸地方蘇蘭に赴き實地を調査し現在の移動助成諸機關の運用改善の餘地等に付考究し行政部各省より供給せられたる豊富なる資料を參考にしたるが研究の範圍を限定し現在の財政政策を覆すが如き大計畫其の他の根本的改造を必要とする對策は範圍外に在りとし議論喧しき金融政策に付ても論述するを避けたり。

#### 二、過剩勞働力に對する考察

現在の失業中或る部分は將來永久に從前携はれる産業に復活し得ざる者にして炭坑業に於ける此種過剩勞働者數は十萬乃至二十萬と推定せらるる其の理由は

(一)現在の失業者數と過去の失業者數との間に變動少く失業者數固定し居れること。

計	全英失業一時失業合
一九二七年一月	一、四七〇、四〇〇
同 年七月	一、三〇三、七三三
同 年十一月	一、四〇一、〇〇〇
一九二八年一月	一、三八八、八八九
同 年二月	一、四四七、七〇七
同 年三月	一、四〇六、〇〇〇
同 年四月	一、三九一、一八八
同 年五月	一、三六〇、〇〇〇

(二)現在炭坑に於ける作業時間短縮せられ居る場合多く約四十五萬の坑夫は作業時間短縮制の下に勞働し居り右の内約二十三萬五千は一週に付一日十三萬五千は二日八萬は二日以上作業せざることとなる實狀にあり全平均一週に付〇・八一日の損失にして十萬人の全作業に該當すること。

(三)現在世界の英國石炭需要年額二億五千萬噸所要勞働者數九十五萬なるが全作業とすれば八十五萬然るに失業保險法被保險坑夫數昨年七月現在百拾六萬四千三百八十なりしこと。

(四)企業集中生産方法改善販賣改良等は當該炭坑勞働者に規則的職業を興ふるも失業者救済の結果と爲らず寧ろ失業者増加に終ること。

等に存し炭坑業の如く海外市場に其の盛衰を左右せらるるものは將來を豫測し難きもの過剩勞働者二十萬以下とすれば正當ならざるべし。炭坑業に於ける右失業者に加ふるに造船製鐵製鋼機械製造等に於ける過剩勞働者を以てせざるべからざる處是等諸工業に於ける失業者は本年五月末に於て其の數十萬を超え尙妨礙に於ても永久的失業者の生ずること結局免れ難しと考へらるるも其の程度及性質は未だ俄かに斷定し難く從つて本報告に於ては右に言及するを避けたり。

過剩勞働力に關して注目すべきは其の主として若干地域に集中せる事實にして炭坑業の場合に於て甚しく本年五月中旬に於て「ノザムバランド」、「ダーラム」地方に於ては全然職なき者四萬以上「サウス、ウエレス」、「モンマスシャー」約五萬五千「スコットランド」二萬五千と云ふ状態にして其他「イースト、ランカシャー」、「アオレスト」、「オアアイ」中部地方「キヤンツク」、「チェイズ」等の區域は小なるも地方問題とし極めて重大なる事態にあり製鐵製鋼造船等炭坑業と密接の關係にあるものは是亦若干地域へ集中の傾向を有し「ノザムバランド」、「ダーラム」、「サウス、ウエレス」、「クライド」河流域に於て之を見る過剩勞働人口を組成する者は凡ての年齢を細羅し居れるが炭坑業に於ける調査に據れば全然職なき十六歳以上六十五歳未満の坑夫十三萬の内十八歳以下一萬三千、十八歳より二十五歳迄三萬、二十六歳より三十五歳迄三萬四千、三十六歳より五十歳迄三萬七千、五十一歳より六十五歳迄二萬七千なり他の基本産業に付ては精確なる調査なきも大體同様の分布を示すものと考へらる

右年齢分布状態は労働者移動に多大の関係あるものにして十八歳以下の労働者は幼年労働者として特殊の問題に属するも移動の点より考慮すべきは失業が幼年労働者の心理並に健康に及ぼす悪影響遠かなることにして初等教育修了後労働の慣習を養成すべき時代に一年或は二年三年と遊惰放逸に過さしむるは労働意志を失はしむる所以なることを忘るべからず十八歳より二十五歳及び二十五歳より三十五歳の間に属する労働者は海外移住に適し或は新規なる職業に對する訓練の効果亦著し次に三十六歳より五十歳及び五十歳以上六十五歳の間に属するものは国内労働市場に於ける移動価値大なるも其の多くは既婚者なる關係上移動に種々の困難を伴ひ最も各方面の同情ある助力を要するものなりとす。

以上過剰労働者存在の事實其の數産業地域別分布、年齢別構成等に關する考察を試みるが之等労働者の他産業又は海外への移動を論ずるに先ち過剰労働人口其のものゝ發生増加を防止せんとする企畫に付一言すべし。

過剰労働者數の増加防止に關する政府の施設として炭坑に於ては労働者雇入の場合従前炭坑に働きたる失業者に採用上優先の地位を與へ新に炭坑に入る者に付ては労働大臣の許可を要する旨の規定を設けたることにして有效なる對策と見ることが得、又義務教育年限延長を過剰労働人口發生防止策として唱導するものあり幼年労働者の就職状態の改善、失業の悪影響を感染せしめざること等を理由に掲ぐるも「教育と産業」とに關する「マールカーム」委員會の述ぶる所に依れば延長の實行

は全國一齊に爲すを可とし十五歳迄延長を計るに三年の準備期間を要する趣なるに付大事業なりと謂はざるべからず加之其の效果如何は疑問にして幼年労働者の就職見込の良好は反て移住の念を衰へしめ目的に反する結果となる虞あり次に六十歳以上の労働者に年金を與へ退職せしむべしとの論あるも炭坑業のみに限定するは難事なるべく其の經費巨額に達す現在の養老年金の經費四千七百五十萬磅なるが六十歳以上の坑夫に一週十志妻十志の割合にて給するときは毎年三千萬磅の増加と爲り若夫一志妻十志の割合とすれば六千萬磅乃至六千五百萬磅の増加を來すことゝ爲るべく實行困難なり尙失業中心地に新しき工業を興し其地の過剰労働者を吸収するも一案なるが採算上可能なることを條件とするが故に決して簡單なることには非ざるも實業家の考慮研究を促す價值あり。

### 三、失業労働者移動政策の基調

過剰労働人口は全國に分散せず小地域に集中するを以て其の移動は急務なり「サウス、ウエールズ」の「ロンドン」の如き十六萬二千餘の人口は炭坑業にのみ依存す從來實施せられたる諸種の失業對策は轉て時來の恢復する迄の一時凌ぎの意味に於て爲されたるものなるが基本産業恢復すとも現在失業者の全部を收容し得るや疑はしく一方失業者自身は他の地方と隔てる狭き天地に閉居し大勢に逼ぜず且つ人情に教く能く苦難に堪ゆるを以て移動の要を極力強逼せざるべからず勿論非基本産業は機械力使用の程度大なるを以て炭坑其他の重要工業の如く人手を要せず又現在失業者存せざるに非ざるも唯幾分なりと負擔輕き産業に過剰労働者移

動達成の條件は(一)失業者自身移動の意志あること(二)各産業に於ける資本家労働者及び荷も此労働意志を實現せしむるの力を有する一切の仲介業者其他個人に於て内地又は海外に於ける就職の機會を與ふること(三)依り現實の援助を爲すこと(四)國家に於て移動獎勵の爲訓練を施し移動費を補助する等必要なる援助をなすこと(五)三なりとす過去に於ては將來復職の見込ありとの果敢なき望又は失業保險制度等失業者の移動意志を鈍らしめたること大なりと雖も現在に於ては斯る悪影響少きが如し然れども一時的事業を起し又は貧窮者救恤を爲す場合には移動政策の遂行を阻害せざる様を戒せざるべからず。

非基本産業に於ては基本産業の過剰労働者が移動し來るを歓迎せざる傾向あるも右は一産業の労働者收容力が固定的なりとする意見に基くものにして又既に其の産業に失業者存すとも労働者の過剰の點より考ふれば移動は差支なきものと云はざるを得ず。

### 四、移動助成機關に關する考察

現に毎週成立の雇傭契約少くも十二萬件に及び自一九二三年七月至一九二七年七月就職者八十五萬を算したり故に非基本産業の資本家並に労働者の過剰労働者移動に對する理解と協力とに俟つときは或る程度迄移動問題の解決を見るを得べし。

### (一)職業紹介所

現在各主要都市街工業中心地約四百箇所に設置せられ分所は其の數七百五十を算す無料にて求

人者求職者間の仲介に當るものにして求職者が遠隔の地に職を得て赴く場合旅費を前貸することあり。

### (二)成人職業補導所

滿二十五歳以下の失業者に對し職業上の一般訓練工場規程器具の使用等に關する知識を授くるものにして現在「ワオムセンド」、「パーミンガム」、「ダドレイ、プリストル」の四ヶ所に設立せられ「スコットランド」にも設けらるゝ豫定なり毎年約三五千五百就職率は九割以上なり。

### (三)幼年労働者訓練所

沿革古く最近更に「デーラム」、「サウスウエルズ」地方に増設せられ現在約二千の幼年者を收容し大部分は年齢十六歳より十八歳迄と幼年労働者をして失業の悪影響より救済せんとする趣旨なり。

### (四)婦人、少女の職業補導所

婦人職業補導中央委員會は失業救済事業の一都として之を「サウスウエルズ」東北海岸地方「スコットランド」等に設け十八歳乃至三十五歳の婦人に家事並に手工業を教ふ更に十六ヶ所増設の豫定なりと云ふ。

之等諸機關は夫々移動助成に有效なる貢獻を爲しつゝあり將來益々之を擴張すべきも改善の餘地なきに非ず例へば職業紹介所の如き未だ充分に利用せられ居らず求職者を登録するに止めず各人技能の程度を詳細に記録することゝせば求人者に満足なる選擇の機會を與ふるに有效なるべし求人者側も未だ職業紹介所の機能を理解せざる憾あり

殊に失業中心地に於て失業救済に有效なるは職業紹介所の仲介なるを以て此點に向改善の餘地あり旅費前貸制度は有效なるも既婚者の場合に對し今一段の考慮を要す既婚者が過剰労働者の半を越ゆる實狀に鑑みるも家族移動に伴ふ失業救済上の困難を救ふ爲融通の途を講ずるを可とすべし幼年労働者訓練所は最も成功せる施設なるが此點に關し失業中心地の兒童の小學校在學期間を強制的に延長し就職可能に至りて労働に従事せしむべしとの義あるも地方自治團體の負擔を考慮せざるべからず且つ又動もすれば幼年労働者の移動を阻止する結果に終る虞あり就職後失業し失業中心地に彷徨するが如きは望まじからざるを以て在學期間延長は單に父兄の自發的意志に俟つべきものとす訓練所は從來失業保險法被保險者たる幼年労働者が失業保險金支拂を受ける條件として入所したるものなるが昨年失業保險法改正の結果本年四月より多くの幼年労働者は保險金支拂を受けざることなりしを以て訓練所に遠ざかる傾向生ぜり父兄が任意的に兒童を訓練所に入所せしむる最近の趨勢は喜ばしき現象なるも保護指導を要する失業幼年労働者が訓練所に遠ざかる事實は憂ふべく強制的に入所せしむる様改正の要あり。

### 五、本國に於ける就職の機會

産業の労働者雇傭能力は固着的に非ず弾力性を有すること既述の如きも労働者移動は社會全體の理解ある後援に俟たざるべからず現在労働者五人以上を使用する雇主の數十二萬に上るを以て若し其の半數にても一二人雇入るゝとせば失業問題解決に多大の効果を齎すべし中央又は地方公共團體

が事業を請負はしむるとき失業中心地より可成労働者を雇ふ様注意を促すも一方法なり過剰労働者中幼年労働者の救済は急務を要するも彼等に對する需要は緊實にして有效なる而已ならず將來數年間には競争の影響による幼年労働者の減少の結果需も移住の場合に於ける居住食糧に關し賃銀不十分ならざることを必要とするを以て或は雇主の厚意に俟ち或は倫敦市長の救済基金運用に俟つべし地方に於ては地方教育當局が労働者と協力し幼年労働者就職に關し盡力し其の努力は有效なるも地方的偏見により他地方よりの移動を歓迎せざる傾なきに非ず三十六歳以上の失業者は數に於て全體の半ば以上を占むるものなるが右は海外移住にも新職業に對する訓練にも過せず労働者移動政策中最も困難なる問題にして各方面の助力を要す職業紹介所も因より利用せらるべく家庭移動に伴ふ種々な不便除去の方法も講ぜらるべきも年少者に比し兎角處理困難にして而も失業状態の窮す苦痛は彼等に於て最も深刻なるものあり社會秩序の上よりするも是等失業者を安住せしむること緊要なり而して現在對策として唱道せらるゝものに土地開墾策と植林策との二あり前者は其の經費巨額に上る而已ならず相當技巧を要し危険率も大なるが之に比し後者は前者一戸當り千五百磅乃至二千磅なるに對し六百二十五磅の小額に止まり國家の將來より見るも極めて有益なる事業なり且つ技巧を要することも少く危険亦少なきを以て失業家族の移動に適す森林委員會は第一期十年計畫を一九二九年を以て終り更に第二期の十年計畫

に移る豫定なるが三年間に少くとも一千家族を移動せしめ得べし。

### 六、海外移住

社會各人が失業問題の眞相を理解し過剩労働者の移動に貢献する所あらば英本國の就職状態に關して悲觀せざるも英國經濟事情は前世紀より甚だ變化し重工業製品に對する販路縮小すると共に生産方法の改良は必要労働者数の減少となり將來新工業の發展により均衡を得ることあるべしとするも其の時期は遠かるべく海外移住の是非に關し考究を試むるの要あり海外自治領へ本國よりの移住を考慮するは單に本國のみの利益を計りてのこと非ず抑も自治領と本國との利害關係は決して衝突せず本國の好況は自治領に好影響を與へ本國不況ならば自治領亦沈滞を免れず本國は決して自治領に其の失業問題を分擔せよと謂ふに非ず海外移住が本國の失業問題解決に資するは間接にして即ち海外移住により本國に留まる失業者の就職機會増加すると同時に自治領の生産に増加件ひ本國の生産増加を來すこととなるを以てなり今自治領の狀態を考察するに一九二一年に於ける各自治領の白人人口は加奈陀八、五五八、九〇三(英系四、八六八、九〇三佛系約二、五〇〇、〇〇〇其他一、二〇〇、〇〇〇) 澳洲五、四五五、七三四新西蘭一、二一八、九一三南アフリカ一、五一九、四八九「ローアシア」(北部「ローアシア」を含む)三八〇、四四二にして一平方哩の人口密度は本國(イングラランド及ウェルズ)六四九に對し新西蘭一二南アフリカ三「カナダ」五澳洲二なり以て人口の稀薄なるを知るべし次に海外自治領に對し本國よりの移住に付考察

するに戦後移住者数の激減を見他外國よりの移住者数増加せるに對し著しき對照を示せる事實は注目し加奈陀の場合の如き一九〇九年より一九一三年の間に於て毎年十萬を算せしもの一九二二年以降は僅かに五萬に止まる有様にして自治領が戦争の爲資源を潤滑せしめたることもなく加ふるに帝國内移住法制定せられ渡航費の國家補助制設けられ通信機關も整備し寧ろ移住は盛んとなるべき事情なるに拘はらず反つて減少を見たるは決して輕視すべき事實に非ず海外自治領へ本國より移住する労働者は自費渡航者と補助渡航者との二種に分つて得前者の要する旅費一人當り加奈陀行十八磅十五志上陸の際に於ける「見せ金」汽車賃若干の衣類等を含み約四十磅一家族平均百五十磅澳洲行三十七磅總旅費六十磅一家族總旅費二百磅見當にして新西蘭は略澳洲と同じ補助渡航者は英帝國内移住法に基き本國政府が旅費の半額を負擔するものにして自治領政府との協同する精神に據る渡航條件は各自自治領により内容を異にし加奈陀は一九二四年の移民法により移入を認むるは農業労働者たらむとする少年並に成年農業の経験ありか農業に適應するか或は農業を目的とし個人より雇入れられたるか何れかに屬する家族及び經驗ある家族に限り移民の工業に従事し妻子を呼寄ることをも許さず澳洲に於ては州政府の許可を得個人の指名により呼寄る場合と州政府が聯邦政府を通し農事に従事すべき青少年を移入する場合との二あり前者は加奈陀の場合と異り農業に従事するを要件とせず唯雇傭の責任を有す右二種の

渡航者中近年後者に屬するもの前者に比し減少を示せるは注意すべき事實なり南澳洲政府は本國政府との協定により七十五萬磅の起債に對し十年間に本國より移民四十萬以上を入國せしむる條件にて本國政府より三十五萬磅の寄附を受くることとなり居れり新西蘭は殆んど指名に基き渡航にして渡航後の職業は農業に限らず。

上述の如く大戦後本國より自治領への移民減少を見たる事實に關し種々な説明試みられ或は自治領並に本國の經濟状態を舉ぐるものあり本國の不況は移民減少を來すと云ふも自治領が本國より好況なるに於ては矛盾にして事實は渡航希望者多きも自費にて渡航費を支辨し得ず補助渡航者たるには要件を充す能はざるが爲なり茲に於て移民の減少は船賃の高きに由ると云ふ者あり一應尤の議論にして船會社の奮發を希望せざるを得ずと雖ども結局循環論法たるを免れず或は自治領が移民を收容するに先づ以て其の産物に對する海外販路の擴張を爲すを要すに由ると説く者あり然れども右の説は米國が十九世紀中無制限に移民を入れ而も繁榮せる歴史を知らざると共に各生産者が同時に消費者なる事實を看過せるもの或は自治領に失業のあり然れども失業者の發生は各産業が均衡せる發達を遂げざるに基き移民流入の結果に非ず其の本國に於ける社會政策實施の故を以て移民阻止の事由と爲すの論に至りては到底沙汰の限なり問題は移民が移住地に於て獲得すべき機會如何に關する觀念に存す。

既述の如く自治領政府の要求歡迎する移民は主と

して農業に従事するものなること現在英國に於ける過剩労働者は農事の經驗なきを以て之等の中海外移住希望者に農業に關する訓練を授くるは極めて有意義なりと謂はざるべからず労働者設立の訓練所にては三十五歳以下の青年に農事訓練を授け修了者毎年二千三百軍隊に於ても海外渡航希望者に斯る訓練を授くる施設あり其他種々の私設農事訓練所あり英本國政府は經費の半を補助す右の如き諸施設は海外移住を感ならしむるに有效なるが同時に各自自治領の協力に俟たざるべからず加奈陀政府は農事以外の産業に従事する移民の入國を許可せざるも全然餘裕存せざるに非ず入國を許す方却て加奈陀發展の爲有利なるべし又加奈陀に移住したる本國人の妻子呼寄を其の職業が農事の場合にのみ補助渡航を認むと雖ども斯る制限は撤廢するを可とす澳洲各政府の移民要求は最近減少の傾向あるも事實收容の餘地大なりと思考せらるる且其の計畫の年々變更せらるるは渡航希望者を逐はしめ渡航を阻念するに至らしむる虞あり新西蘭に於ては指名の形式のみなるが最近縮小せる移民の増加を計るべし移民増加策の一としては巨額の經費を要するものなるも土地開墾策は有效なり而して渡航費上陸の際の「見せ金」は前貸するも可なり海外渡航希望者に對する訓練は益々發達せしむべく現在の方針にて不可なし補助渡航者に對し斯く種々の改善施設をなすと共に自費渡航者の増加にも注意を拂ふを要す殊に帝國内移住法の規定に基き移民の増加は各政府が其責任に縛られ敏捷なる行動に出でざるを以て著しき發展を見ること難し自費渡航者の場合に考慮すべき障害は物質的及

心理的の二にして前者は渡航費「見せ金」等に關し特別の措置を執ることに依り後者は渡航手續を簡便にし海外自治領が移民を歡迎しつゝある事實を明かにすることに依り除去することを得べし船會社も戦後設備の改善を爲し大に努むる所あるも尙一層の努力を望む。

### 七、人為的職業作成

以上國の内外に於て一般産業に自然労働者の移動する策を論述せるが勿論其の効果は遅々たるを免れず然れども此方策は最も合理的且つ永久的効果あるものにして世上公共事業を興し又は簡易なる信用を設定し移動を速かならしむべしとの論あるも首肯するを得ず右の論は今日爲すべき事業存し之を興し以て失業者を救済せんとするものなるが第一に斯かる大規模の計畫は現在の財政政策を根本的に變更する要あり貧民窟一掃埋立主要道路の改造等は結構なる事業なるも中央地方の財政上の關係もあり就職の點よりも一時的なるを免れず千三百五十人の不熟練労働者を道路修繕に使用するに一年百萬磅を餘す灌漑事業にても一千人を使用し約二三年を費し百萬磅を要す戦後斯かる失業者を救済目的の爲興したる事業費一億九千萬磅而も使用せし失業者數七萬五千に止まる故に人為的に就職の機會を造らんとするは實際的方法に非ずと信ず。

### 八、結 論

要之約二十萬の過剩労働者存在し其の一部分は再び從來從事せし産業に復帰し得べきも殘る大部分は移動を必要とす彼等は若し經濟界が彼等に就職の機會を與へんと努むるところあらば通常産業に吸收せらるべし年少者は海外に移住し得て就職に比較的困難ならざるも老年並に既婚者は社會的意識的援助を要す移動の必要を教へらるゝは彼等にとり悲觀事なるべきも此の重要な事實を強固に調せざるべからず而して若し彼等にして移動の意志あらば援助の途あるべきを悟らしむべし之が爲には社會各人の同情を期待し綜合細細なりとも雇傭の申出あり斯くて積り積りて大をなさんことを期待す。

### 第二報告の國內及海外自治領に及ぼせる影響

労働者移動局の報告は時節柄著しく一般朝野の視聽を惹き其の公表と共に「タイムズ」を始め都下各新聞は殆んど例外なく社説を掲げ之に論評を加へ又多く報告の抜萃乃至「サンマリー」を主要頁に掲記せり右諸論評を綜合するに一に自由黨系新聞が失業救済策として報告の唱導する具體案なるものは其の實行の細目に於て明瞭を缺く點多しとして攻撃せるを除き一般に移動局委員の努力を多とし其の指示する解決案が問題の實相に適應し殊に之が救済には社會各方面の人士の協力に俟つの外途なきことを強調せる點に全幅の賛意を表すと云ふに一致せり然れども報告の眞の價值は其の具體的救済策に存すと云ふよりは寧ろ報告が世人の前に如實に暴露したる悼ましき事實其のものに存すと云ふを得べし即基本工業特に炭坑業に於て舊業に復活すること不可能と認めらるゝ過剩労働者實に二十萬を降らすとの事實及海外移住が手續煩瑣の爲政府の凡ゆる努力に拘はらず却て年々減少の傾向に在りとの事實は今更の如く世人に驚異の感を生へ朝野一般をして新しく此の難問題解決



の緊急に當面せしむるに至れることは是なり。報告は勿論諸海外自治領にも相當の反響を與へたるが加奈陀拓殖省歐洲駐在官「ウォーカー」氏は海外移住手續の簡易化渡航費の低下等は眞の解決策に非ず農業の知識なく農業を好まざる本國よりの移民を増加するが如きは本國の失業問題を加奈陀に移殖するに過ぎずとし農業労働者のみを歓迎する加奈陀の立場を宣明し歐洲の移民局長「マンニグ」氏は本國よりの移民を歓迎するも各洲の労働者收容力により移民を制限せざるを得ずとし加奈陀と同じく本國の失業問題を自治領に移すに如きは何等益なしと述ぶる所あり歐洲聯邦首相「ブルース」氏も同様の意見を有すと傳へらる。以上自治領側の見解は政府に於て報告の指示する解決策を實施する場合必然考慮するを要する點にして如何なる方法により兩者の調和を期せんとするや將又政府が如何なる程度迄報告の提案を實行せんとするか今後に残された問題にして一般の注目して見んと欲する所なり。

(別府領事官補調査)

### 三、瑞西の失業及同盟罷工

本調査は一九二八年前半期に關するものにして瑞西國經濟省労働局の發表に基き在瑞西特命全權大使吉田伊三郎氏より外務大臣田中義一氏宛報告して来たものである。

#### 一、失業

本年前半期に於ける失業率数は之を前數年の各前中期に比較するに一九二一年來の最低記録を示せ

り昨年初めより失業率数は減少を示し本年前半期末に於ても其の傾向依然たり本年前半期に於ては殊に熟練職工に對する需要多かりき本年前半期に於て失業率数は最少限度に達したるものと認むべく此の程度の失業率存在するは労働の需給を完全に按配すること不可能なる結果常に止むを得ざるものとす(例へば就職の爲住所變更に躊躇せざる労働者は極めて少數なるを以て一地方にては労働者不足し居るにも拘らず他地方に於て失業率を生ず)故に本年前半期に於ては若干の地方を除くの外本來の意味に於ける失業率なかりしと云ふを得べし本年前半期及最近二年間前半期の求職者數左の通。

一九二六年	一九二七年	一九二八年
一月末	10,550	10,111
二月末	10,286	10,011
三月末	10,360	9,866
四月末	10,111	9,911
五月末	10,000	9,744
六月末	10,111	9,777

#### 二、同盟罷工

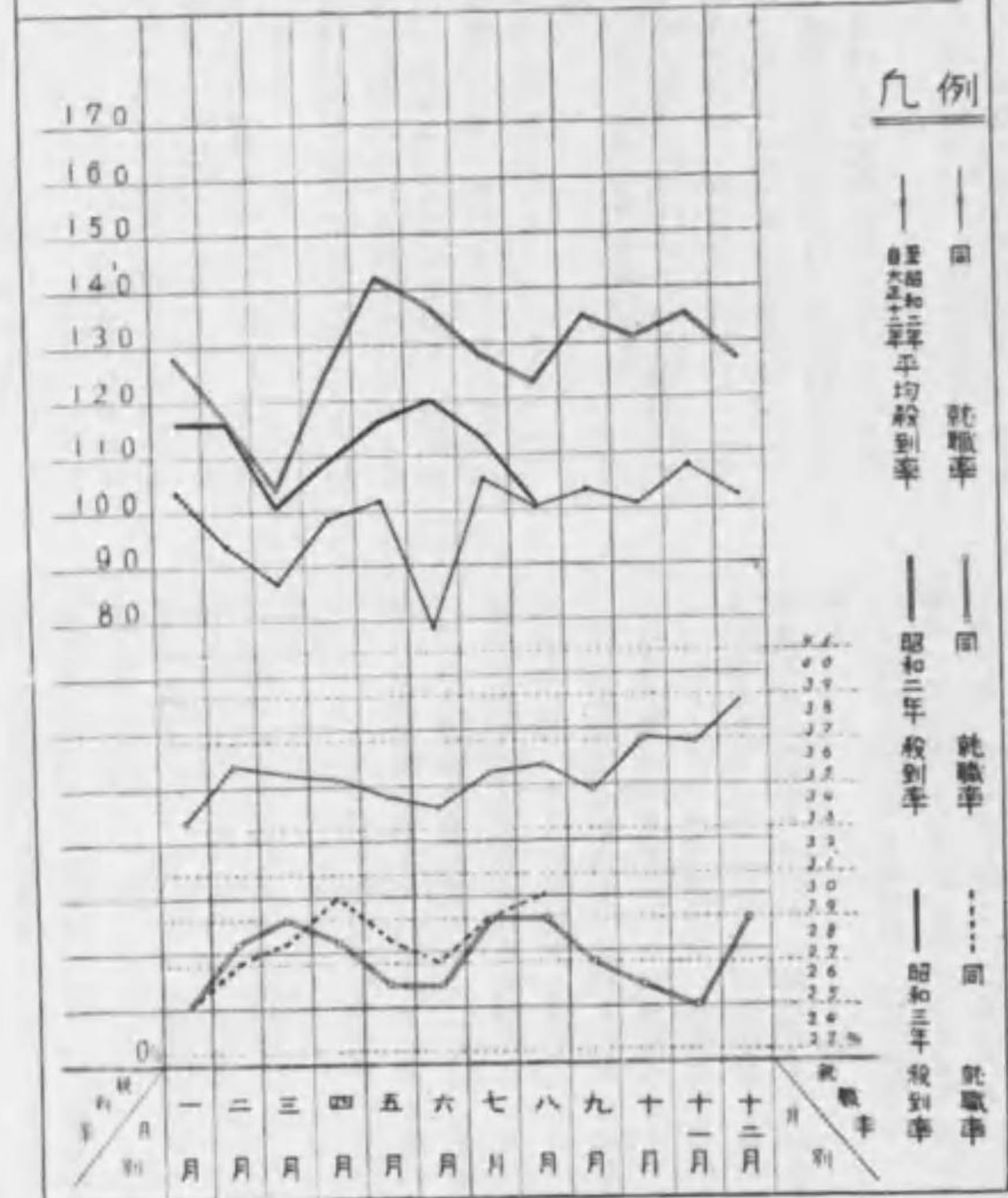
本年前半期に發生したる同盟罷工十七件内三件は六月末日に於て罷工繼續中なり昨年十一月發生したる「クロイツリンゲン」の製本労働者の同盟罷工は本年に入り終止したるを以て本年前半期に於

て終了したる同盟罷工十五件ある一件を除き他の同盟罷工は皆一日以上繼續したり本年前半期に於て工場閉鎖を宣したるものなし、一日以上繼續し本年前半期に於て終止したる同盟罷工十四件に於て見るに右十四件の罷工の關係したる企業主數百十三、罷工職工數二千五百七十三、同盟罷工の發生したる爲休業の止むなきに至りし職工數四百二十、罷工及休業の延べ日數三萬九千二十五日なり詳細に於ては左記統計參照。

工業ノ種類	同盟罷工關係企業主數	職工數	休業日數
衣服製造業	4	1,993	3,857
製材木工	1	1,993	2,433
織物業	1	993	993
紙工	1	993	993
工業	1	993	993
金業及機械業	1	993	993
時計製造業	1	993	993
計	14	11,993	21,993

同盟罷工の原因は賃銀問題十件、職工の雇入又は解雇問題二件、その他二件なり同盟罷工十件は各々一企業主に關したるのみなりしが「ジョネーア」建築労働者の罷工は九十企業主に關係せり其の他の三件は二乃至十の企業主に影響せり、罷工繼續期間は六件に於て二日乃至五日他の六件に於て六日乃至二十日なり。「パールの」の木材労働者の罷工は二十三日「クロイツリンゲン」の製本労働者の

職業紹介月別成績表 (日清・日華)



### 統計

#### 職業紹介事業概況 (八月分)

全國二百九個所の職業紹介所の報告に基いて八月分職業紹介事業概況述ぶ。

#### 一般職業紹介概況

一、取扱概況  
 求 人 數 男 4,276 女 5,683 計 9,959  
 求職者 4,946 10,555 15,501  
 再求者 1,933 2,993 4,926  
 紹介狀交付數 2,571 7,933 10,504  
 就職者數 2,868 4,548 7,416  
 求人數に對する就職者數の割合  
 本月 10.1% 前月 11.3% 前年同月 12.3%  
 求職者數に對する就職者數の割合  
 本月 30.0% 前月 29.9% 前年同月 29.9%

本月に於ける全國職業紹介事業の概況を概観するに一般的に求人は増加を示して居るか求職者は減少を示して居り就職率は殆んど變化を認められない所である如此求人數の増加を見たのは製糸、飲食店雇人、僕婢、番人小使、配達人等の増加に基きものであり求職者數の減少したのは裝身具、嗜好品、商店雜役、事務員、配達人等の減少に基きものである。

二、前月との比較  
 之を前月の取扱數と比較するに求人數に於て四、三五六人増、求職者數に於て一、八三六人同再來數に於て一、九八三人紹介狀交付數に於て一、二九人就職者數に於て四三三人の各減少を示して居る。依之觀るに本月は前月に比し少からず好轉せりと云ふ可く一般的に労働需要の増進を見たが求人數百人に對し求職者數は前月百十三人から十二人下り今月一〇一%に減つたが尙求人條件の未だ思はしからざるが如く就職率

罷工は百九十日繼續せり。九件に於て各一件の罷工職工數五十人以下三件に於て各一件の罷工職工數百人を越えたり。其の他に於ては毎一件の罷工職工數五十人乃至百人なり、關係職工數最多なりし罷工は「ジョネーア」の建築労働者罷工にして該罷工の爲罷工又は休業したる労働者は二千三百人なり。

は著しく好化する事なく前月二九%に對し本月三〇%と一寸上つて居る丈けである。

三、前年同月の比較  
前年同月の取扱数と比較するに求人數に於て四、六四一人増求職者登錄數に於て六、九二六二人増求職者數に於て二、六五七人紹介狀交付數に於て三、八八二人就職者數に於て一、四二〇人の各減少を示して居る。

依之觀是本月の取扱は前年同月に比し著しく好化した様で求人數百人につき前年の一二三人に對し今月一〇一人となつて居るが前月と同様な理由の爲か就職率は前年の二九%に對し本月三〇%に僅か一の上向を示したのみである。

四、各管内状況

(一) 東京地方職業紹介事務局管内  
管内東京府、青森縣、新潟縣に各一個所の増加を見た之を前月に於ける取扱数と比較するに求人數に於て三、六六五人増、求職者登錄數に於て二〇八八人同再來數に於て三〇八八人各減紹介狀交付數に於て三五四人増就職者數に於て七〇人の減を示して居る。  
求人超過のものは工銀業、土木建築業、商業、水産業戸内使用人、其他は求職超過である。求人超過の主なる府縣は東京、神奈川、新潟、埼玉、千葉、茨城、栃木、岩手、であり求職超過は北海道、山梨、長野、宮城、福島、青森、山形及秋田等である尙本管内は他管内に比し求人超過著しく現はれて居る。

ける取扱数と比較するに求人數に於て七一〇人増、求職者登錄數に於て一、三一一人同再來數に於て三九〇人就職者數に於て二〇四人の各減少を示して居る。  
前月に依れば求人數の増加は京都に於ける大體博覽會等に因るところから又求職者の減少は孟蘭盆の爲歸省者多きに基因するものである。

(三) 名古屋地方職業紹介事務局管内

本月の取扱数を前月に比較するに求人數に於て一〇八八人求職者登錄數に於て二九三人各減同再來數に於て二六八人紹介狀交付數に於て六三人就職者數に於て七人の各増加を示して居る。  
本月の取扱数は別表に示す如く前月に比し大差なきも求職者の數に於て比較的減少せり本月は七月に比し毎季季節的職業の増加に影響せられて増加を見る處なるに本年如此現象を見るは惟ふに天候の影響を受けた結果なりと見るを得べし。

(四) 福岡地方職業紹介事務局管内

本月の取扱数を前月に比較するに求人數に於て八九人増、求職者登錄數に於て二四人減同再來數に於て一八八人増、紹介狀交付數に於て一五六人就職者數に於て一六六人の各減少を示して居る。  
求人數は増加し求職者數は減少して居る而して紹介狀交付數及就職者數の減少を見た。之に就ては本月は新舊の孟蘭盆に當れるが僱傭の歸郷する者多く新に求職する者少數なる爲求人數増加に比し求職者數は反對の減少の状態となつた

五、需給關係  
本月内の求人數及求職者數の取扱を見るに求人數五萬八千三百六十二人求職者登錄數五萬九千三百三十五人で求職超過七百七十三人である即ち求人數一〇〇人に對して求職者一〇一人の割合である。

次に之を性別について見れば男子は求人數四萬一千七百七十八人に對し求職者登錄數四萬八千九百八十八人に對して求人一〇〇人に對し一一九人の割合である。  
女子は求人數一萬七千八百八十四人に對し求職者登錄數一萬五千五百五十五人に對して求人一〇〇人に對し九五九人の割合である。  
即ち女子に於て求人増加は男子の其れに比し著しい之は僱傭、飲食店雇人、事務員、看護人、紡績、製身具方面の需要ある爲である更に職業別に就て需給關係を見るに

1. 工業及鑛業に於ては三千四百九十七人の求職者超過にして其の主なるものを個別的に示せば機械器具、電氣瓦斯、金屬工業、製版印刷等にして紡績、製身具、嗜好品等は求人超過である。
2. 土木建築に於ては求人超過二千二百八十四人にして全部之に屬し就中土方日傭は大部分を占めて居る。
3. 商業に於ては二千六百十三人の求人超過にして店員を除く全部之である。
4. 農林業に於ては七十八人の求職超過にして養蠶の三人の求人超過を除き全部之に屬して居る。

5. 水産業に於ては八十人の求人超過にして漁撈業其の他之に屬して居る。
6. 通信運輸に於ては八百八十八人の求職超過にして車夫馬丁を除き全部之に屬して居る。
7. 戸内使用人に於ては二千百十人の求人超過にして僱傭、乳母見守等にして書生給仕、香人小使等は求職超過である。
8. 雜業に於ては二千三百四十五人の求職者超過にしてその主なるものを個別的に示せば事務員、官公吏、教員、其他等にして外交集金人、配達人等は求人超過である。

八月中に於ける求人超過の主なるもの

乳母見守	(約五倍)
小商店員	(約四倍)
外交集金人	(約三倍)
行商	(約二倍半)
製身具、土方日傭、紡績、嗜好品、配達人	(約二倍)
事務員	(約一倍半)
香人小使	(約三倍)
自動車従事員	(約三倍)
書生給仕	(約二倍半)
電氣瓦斯	(約二倍)
機械器具、製版印刷、店員	(約一倍半)

八月中に於ける二千人以上の求人左の如し。

僱	九、三七	土方日傭	四、六八
外交集金人	四、〇三	商店雜役	三、六四
小商店員	三、五〇	飲食店雇人	三、三三
店員	三、二六	配達人	三、二〇

八月中に於ける二千人以上の求職者左の如し。

事務員	四、一六	店員	四、七六
僱	四、七三	商店雜役	三、八五

飲食店雇人 二、九八 土方日傭 二、八三〇  
香人小使 二、六七  
八月中に於ける再來の主なるもの左の如し。

事務員	二、九八	店員	一、八六
僱	一、四七	香人小使	一、三六
商店雜役	一、三三	飲食店雇人	一、〇四
機械器具	一、〇五		

日傭労働紹介取扱状況 (八月分)

全国三十一ヶ所の職業紹介所に於ける	本月中の日傭労働紹介取扱状況左の如し。
一、取扱状況	
求人數	男 三、〇六八 女 六、六三一 計 九、六九九
求職者數	男 三、三九七 女 六、八三六 計 一〇、二三三
就職者數	男 三、〇七九 女 六、六八六 計 九、七六五
求人數を一〇〇とし	本月 前月 前年同月
求職者數を一〇〇とし	一一一 一〇九 一一三
就職者數を一〇〇とし	一一一 一〇九 一一三
求職者數の指數	一一一 一〇九 一一三
就職者數の指數	一一一 一〇九 一一三

本月に於ける取扱数を概観するに前月並前年同月に比し取扱数の増加を見たが需給關係は前月に比し増少とは云へ逆轉せるを觀るも前年同月に比しては多少持直した觀がある。此の如きは八月中に雨天多かつた爲と思はるゝが尙前年八月に於ける求人數に比して格段の増加即ち二十一萬三千五百二十八人の數を示した事は一般産業界の好轉を物語ると共に一般公私事業團體の職業紹介所利用程度の高まつた事を示すものと思はる。

數に於て一〇、三八二人各増加を示して居る。之は夏期に入りて土木建築等の事業より求人著しく現れたるもの如く尙諸官廳其の他の紹介所を利用するもの多きを加えた爲であらふ。  
更に前年八月に比するに求人數に於て六七、六三六六人求職者數に於て七一、九〇六人の各増加を示して居り就中比率に於ては前年の一一・二%に對し今月は一・一%に低下し就職率に於ては昨年八九%に對し今月九〇%に向上して居る。如此は昨年比し一般事業界が稍々活況を呈し來れると同時に尙職業紹介所が其の機能を認められたる事を示すものであらうが尙尙大關係事業並に東京市其他に於ける復興事業が愈々進捗し來つた事も亦見逃すこと能はざる原因であらう。  
本月に於ける求職超過は二二、四五五人で前月の一八、一〇六人前年同月の一八、一八五人に比し稍々需給の開きが大きとなつた事が認められる。

の略完成した為求人却つて減少してゐる。

ロ、大阪地方職業紹介事務局管内

本管内に於ける求人数三、八二五三人、求職者数四、八五一一人、就職者数三、二五三人である。之を前月に比し他の管内と異り求人数二、二〇四人、求職者数一、二〇五人、就職者数二、二〇四人、各減少を示してゐる。然して前年同月に比しては求人数六、九〇四人、求職者数八、〇七三人、就職者数六、八五四人の各増加を示してゐる。前月に比して減少を見たのは神戸市に於ける求人の減少したのに起因するのである。

ハ、名古屋地方職業紹介事務局管内

本管内では求人数二、六〇九四人、求職者数二、九一五人、就職者数二、〇九四人である。之を前月に比すれば求人数にて二、四七二人、求職者数にて四、〇〇一人、就職者数にて二、五一八人各増加を示し前年同月に比しては求人数に於て一、四一三〇五人、求職者数に於て一、六一八人、就職者数に於ては一、四一三〇五人各増加を示してゐる。前年同月及前月に比しては増加を見たのは名古屋に於ける公私土木事業等に御大典に伴ふ名古屋市の電車軌道及道路の改修工事の進捗の結果である。就職先の主なるものは市電氣局、水道課、道路課、下水課名古屋工場等である。

ニ、福岡地方職業紹介事務局管内

本管内に於ては求人数四、九一四人、求職者数五、三一一三人、就職者数四、九一四人であつて前月に比し各多少の増加を見てゐる。就職先の主なるものは

若松市に於ては市水道課の石工、馬車投其の他で佐世保市に於ては工廠其の他の雑役である。

道府縣外職業紹介取扱概況

昭和三年一月より六月迄に於ける道府縣外職業紹介成績の状況を見るに求人申込数五千八百六十二人、紹介件数四千五百五十二人、就職者数三千八百八十八人にして之を取扱地方別に示せば別表の通りなり。

營利職業紹介事業概況

七月中に於ける全国營利職業紹介事業の取扱概況を述べれば次の通りである。

Table with columns: 種別 (Gender), 年別 (Yearly), 求人数 (Number of Applicants), 求職者数 (Number of Job Seekers), 就職者数 (Number of Jobs). It contains data for male and female applicants and job seekers across different years.

即ち本月の取扱に於ては前年同月に比するも本年同月に比するも各取扱数悉く減少し単に求人数に於て前年同月より四、八三八人の増加を示せるのみである。前年に比して斯る減少を招致せるは労働移動の固定化と公設紹介所の進出

(一) 營業者總數、營業者總數は三千四百三十三人にして取扱營業者數は二千七十五人即ち總數の六割に當り之を前月に比すれば前者に於て十七人、後者に於て七十二人各増加を示して居り前年同月に比すれば夫々四十九人及二十一人を増加して居り共に公設職業紹介所の増加にも關らず尙職業紹介事業の發展の余地あることを示して居る。

(三) 業種別需給關係

取扱總數に就きて見れば殺到率七一・七%就職率六六・三%にして求人数は求職者數を凌駕すること二萬二千餘なるに拘らず就職率は前月よりも悪化し雇傭條件の悪化せるを思はしめ更に業種別に之を見れば工業に於ては求人数三、七二二人にして前月及前年同月及前年同月より増加を示し求職者數に於ては前月より些少の減少を示したりと雖も就職者亦増加し殺到率は六五・〇%(前月より六・九%減)にして求人数却つて過剰なるに却らず就職率は六〇・一%に過ぎず兩者條件の合せざることを示して居り土木建築業に於ては前月との變化少なければども求人に於ては多少減少し求職に於ては増加し殺到率は僅かに四九・六%にして求職者は求人の半數に充ざる事を示してゐる。是に於ては就職率八二・四%となり前月、同年同月より多大の好轉を示してゐる。

農林業に就きて檢するに各取扱數共減少せるは周期的現象にして先月の農繁期の活況の漸く沈滞に歸せるを示してゐる。尙昨年同月に比し各數共七〇人内外の増加あるは農村に於て紹介所を利用する傾き漸次大ならんとする傾向あるを示してゐる。

即ち本業に於ては前月に比して各取扱數共相當の増加を示し就職率に於ては四・七%の増加をなし夏季に入ると共に日雇労働市場の活況を呈し需給關係亦圓滑となれることを現はしてゐる。更に之を前年同月と比較するに各數共減少せるを見る。而も其の取扱數各本月の倍數に上るは此の労働市場は漸次公設職業紹介所の扱ひ

Table with columns: 種別 (Gender), 年別 (Yearly), 求人数 (Number of Applicants), 求職者数 (Number of Job Seekers), 就職者数 (Number of Jobs). It contains detailed data for male and female applicants and job seekers across different years.

に轉ずるにあらざるやを疑はしめる。本月の斯業の取扱ひは之を紹介件數にて見るに東京特に多くして四千七百六十六人(全數の半數以上)を占め以下岡山の一十九百八十八人、大阪の六百五十三人福岡の百九十三人鳥取の百五人の順にして餘は總て百人に満たぬ。

東京地方職業紹介事務局管内  
昭和三年八月分 職業紹介所別職業紹介月報 (百六箇所)

職業紹介所別	求人数			求職者数						紹介状交付数			就職者数			
	男	女	計	登録数		再来数		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	男	女									
札幌市職業紹介所	250	139	389	445	70	515	96	22	118	183	42	230	117	25	142	
札幌市職業紹介所	190	60	250	98	18	116	—	—	—	98	18	116	98	18	116	
札幌市職業紹介所	89	6	95	71	3	74	4	—	4	48	3	51	40	2	42	
小樽市職業紹介所	196	16	212	308	11	319	67	2	69	193	3	196	97	2	99	
北海道小計	203	83	286	201	27	228	30	5	35	67	25	92	59	27	86	
仙台市職業紹介所	85	17	102	143	6	149	11	2	13	92	5	97	77	4	81	
仙台市職業紹介所	182	58	240	172	38	210	—	—	—	138	34	172	134	32	166	
仙台市職業紹介所	9	3	12	12	—	12	—	—	—	7	—	7	2	—	2	
仙台市職業紹介所	16	7	23	31	3	34	1	—	1	16	1	17	8	—	8	
仙台市職業紹介所	24	15	39	8	9	17	5	2	7	8	9	17	6	7	13	
仙台市職業紹介所	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
北海道小計	1,247	404	1,651	1,489	185	1,674	214	33	247	855	140	995	638	117	755	
東京市中央職業紹介所	3,183	828	4,011	3,515	449	3,964	1,669	211	1,880	1,562	354	1,916	574	122	696	
東京市芝罘橋職業紹介所	1,125	313	1,438	765	146	911	303	37	340	522	122	644	165	38	203	
東京市大塚職業紹介所	630	182	812	589	153	742	144	30	174	366	107	473	141	68	209	
東京市上野職業紹介所	1,807	396	2,203	1,269	193	1,462	473	109	582	640	188	828	167	100	267	
東京市浅草公園職業紹介所	907	188	1,045	738	76	814	431	48	479	600	75	675	157	30	187	
東京市新宿職業紹介所	412	132	544	577	122	699	128	29	257	247	81	328	75	30	105	
東京市相生職業紹介所	577	121	698	357	46	403	50	9	59	216	32	248	62	15	77	
東京市技術労働職業紹介所	502	—	502	296	—	296	81	—	81	158	—	158	87	—	87	
東京市板橋職業紹介所	930	239	1,169	464	35	499	291	15	306	525	41	566	108	14	122	
東京市婦人少年職業紹介所	559	211	770	168	178	346	142	135	277	187	135	322	74	64	138	
東京市本郷職業紹介所	33	19	52	145	20	165	25	8	33	40	23	63	8	11	19	
東京市本郷職業紹介所	2,822	686	3,508	2,536	567	3,103	964	240	1,204	1,476	415	1,891	809	253	1,062	
東京市青年職業紹介所	337	26	363	463	22	490	270	6	276	307	13	320	139	8	147	
救世軍努力館職業紹介所	109	—	109	119	—	119	—	—	—	109	—	109	108	—	108	
救世軍月島職業紹介所	13	3	16	52	4	56	9	2	11	23	1	24	4	—	4	
愛国婦人會職業紹介所	—	377	377	—	95	95	—	13	13	—	77	77	—	23	23	
愛国婦人會職業紹介所	—	219	219	—	117	117	—	6	6	—	92	92	—	44	44	
労働共済會職業紹介所	43	9	52	171	16	187	15	1	16	98	12	110	72	9	81	
築地本願寺職業紹介所	101	19	120	81	14	95	19	3	22	75	10	85	19	4	23	
護国寺職業紹介所	156	47	203	177	34	211	45	4	49	100	20	120	23	10	33	
浅草本願寺職業紹介所	36	9	45	137	9	146	2	—	2	35	4	39	9	2	11	
龜戸町立職業紹介所	167	62	229	242	55	297	50	17	67	113	39	152	82	29	111	
墨谷町立職業紹介所	343	112	455	222	71	293	25	6	31	146	69	215	94	64	158	
淀橋町立職業紹介所	170	65	235	119	27	146	52	8	60	68	2	70	41	15	56	
大崎町立職業紹介所	617	199	816	391	78	469	28	16	44	358	87	445	275	62	337	
千駄谷町立職業紹介所	264	80	344	146	26	172	75	25	100	109	25	134	85	17	102	
東京府千住職業紹介所	411	130	541	394	55	449	97	12	109	316	48	364	120	27	147	
東京府大島職業紹介所	411	71	482	620	76	696	114	25	139	377	63	440	189	30	219	
東京府王子職業紹介所	355	71	426	368	48	416	58	19	77	251	48	299	176	38	214	
北豊島工員職業紹介所	262	21	283	281	35	316	31	13	44	164	16	180	92	6	98	
八王子市職業紹介所	41	40	81	57	13	70	13	7	20	20	13	33	18	11	29	
吾妻町職業紹介所	48	22	70	14	2	16	1	—	1	15	2	17	6	2	8	
吾妻町職業紹介所	676	237	913	444	39	483	185	29	214	462	58	520	266	33	299	
西里町職業紹介所	655	253	908	503	116	619	208	45	253	379	84	463	204	44	248	
小計	18,762	5,337	24,099	16,425	2,937	19,362	5,998	1,123	7,126	10,064	2,375	12,439	4,429	1,223	5,652	
横濱市中央職業紹介所	817	306	1,123	801	184	985	156	78	234	631	152	783	159	50	209	
横濱市西戸部職業紹介所	149	73	222	108	44	152	35	17	52	86	38	124	32	13	45	
横濱市富士見町職業紹介所	164	85	249	184	47	231	65	8	73	130	39	169	53	23	76	
横濱市神奈川職業紹介所	142	75	217	223	36	259	59	25	84	118	33	151	70	19	89	
横濱市保土ヶ谷職業紹介所	55	31	86	76	31	107	14	5	19	50	25	75	21	10	31	
横濱市鶴見職業紹介所	67	18	85	96	9	105	8	1	9	46	7	53	23	2	25	
横濱市須賀川職業紹介所	136	18	154	177	10	187	—	—	—	98	7	105	79	7	86	
川崎市職業紹介所	48	67	115	71	23	94	2	6	8	30	21	51	16	12	28	
浦賀町職業紹介所	89	14	103	62	23	85	—	—	—	44	9	53	33	7	40	
小計	1,667	687	2,354	1,798	407	2,205	339	140	479	1,233	331	1,564	486	143	629	

昭和三年八月職業別職業紹介月報

職業	求人数			求職者数						紹介状交付数			就職者数			
	男	女	計	登録数		再来数		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	男	女									
一、工業	101	123	229	182	27	209	58	12	70	121	33	154	42	19	61	
1. 製絨	272	1,319	1,591	608	412	1,020	131	16	147	247	396	643	108	309	417	
2. 紡織	637	96	733	855	47	902	308	3	311	544	46	590	275	23	308	
3. 染色	1,074	634	1,708	659	338	997	195	62	257	409	268	677	107	149	316	
4. 製鋼	1,187	39	1,226	1,972	19	1,991	1,031	4	1,035	1,029	15	1,044	483	6	489	
5. 機械器具	382	—	382	279	—	279	60	—	60	169	—	169	82	—	82	
6. 造船	433	33	466	823	6	829	349	1	350	334	15	349	144	10	154	
7. 電気	1,430	49	1,479	1,715	19	1,734	638	4	642	1,088	26	1,114	516	14	530	
8. 金工	111	33	144	183	11	194	81	4	85	117	29	146	58	18	76	
9. 鍛冶	2	—	2	12	—	12	1	—	1	7	—	7	2	—	2	
10. 鑄造	13	—	13	17	—	17	3	—	3	12	—	12	8	—	8	
11. 肥料	306	65	371	270	22	292	64	3	67	188	29	217	80	19	99	
12. 製紙	796	54	850	1,198	42	1,240	478	4	482	535	32	567	221	22	243	
13. 印刷	440	40	480	324	17	341	95	3	98	292	17	309	144	13	157	
14. 食品	1,040	115	1,155	772	32	804	215	9	224	577	50	627	264	29	293	
15. 嗜好	127	—	127	102	1	103	8	—	8	94	2	96	65	1	66	
16. 探査	2,067	323	2,390	5,456	523	5,979	2,297	154	2,451	1,431	207	1,638	750	112	862	
17. 其他	10,468	2,928	13,396	15,377	1,516	16,893	6,012	279	6,291	7,189	1,165	8,354	3,409	754	4,163	
一、工業小計	2,945	323	3,268	4,436	440	4,876	1,651	205	1,856	1,908	201	2,109	871	108	979	
二、土木建築	192	—	192	146	—	146	41	—	41	90	—	90	44	—	44	
18. 大工	69	3	72	25	1	26	4	1	5	29	2	31	18	1	19	
19. 左官	69	3	72	25	1	26	4	1	5	29	2	31	18	1	19	
20. 石工	4,523	115	4,638	2,791	39	2,830	440	4	444	2,486	33					

大阪地方職業紹介事務局管内  
昭和三年八月分 職業紹介所別職業紹介月報 (五十三箇所)

職業紹介所別	求人數			求職者數						紹介狀交付數			就職者數			
	男	女	計	登録數		再來數		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	男	女									
大阪中央職業紹介所	1,496	497	1,993	2,525	402	2,927	1,741	166	1,907	401	171	572	235	101	336	
大阪九條職業紹介所	856	152	1,008	1,820	179	1,999	945	113	1,058	452	104	556	205	58	263	
大阪築港職業紹介所	211	70	281	230	16	246	122	6	128	78	12	90	39	3	42	
大阪西野田職業紹介所	340	30	370	1,075	66	1,141	602	33	635	218	19	237	106	13	119	
大阪天神橋大目職業紹介所	583	-	583	1,468	-	1,468	1,055	-	1,055	316	-	316	184	-	184	
大阪小橋職業紹介所	-	382	382	-	341	341	-	184	184	-	168	168	-	70	70	
大阪梅田職業紹介所	850	125	975	1,503	83	1,589	1,140	24	1,164	381	45	426	189	22	211	
大阪玉造職業紹介所	427	-	427	774	-	774	583	-	583	227	-	227	112	-	112	
大阪萩之茶屋職業紹介所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪職業紹介所	525	-	525	941	-	941	99	-	99	407	-	407	240	-	240	
大阪基督教青年會職業紹介所	43	5	48	102	9	111	118	3	121	67	2	69	29	2	31	
大阪婦人クラブ職業紹介所	-	440	440	-	165	165	-	29	29	-	184	184	-	110	110	
堺市職業紹介所	484	131	615	694	144	838	138	29	167	440	104	544	254	62	316	
堺和田市職業紹介所	109	42	151	152	25	177	43	7	50	92	21	113	48	7	55	
内鮮協和會豐崎職業紹介所	141	8	149	427	15	442	146	-	146	141	8	149	141	8	149	
内鮮協和會泉尾職業紹介所	56	-	56	139	-	139	80	-	80	47	-	47	45	-	45	
小計	6,121	1,882	8,003	11,850	1,445	13,295	6,762	594	7,356	3,267	838	4,105	1,827	456	2,283	
京都中央職業紹介所	665	894	1,559	978	454	1,432	567	91	658	620	413	1,063	194	246	440	
京都七條職業紹介所	876	822	1,698	1,174	499	1,673	568	87	655	683	500	1,183	284	321	605	
京都新舞鶴町職業紹介所	6	3	9	9	5	14	4	-	4	10	5	15	6	1	7	
京都伏見町職業紹介所	14	21	35	26	29	55	1	2	3	20	28	48	12	13	25	
小計	1,561	1,740	3,301	2,187	987	3,174	1,140	180	1,320	1,333	976	2,309	496	581	1,077	
神戸市中央職業紹介所	584	239	823	933	225	1,158	372	40	412	428	146	574	174	50	224	
神戸市春日野職業紹介所	204	75	279	359	96	455	127	51	178	225	59	284	88	25	113	
神戸市林田職業紹介所	161	53	214	372	44	416	96	15	111	140	32	172	59	12	71	
神戸市湊川職業紹介所	469	97	566	700	105	805	316	14	330	338	37	375	203	19	222	
尼崎市職業紹介所	134	77	211	282	60	292	90	19	109	84	24	108	40	15	55	
小計	1,552	541	2,093	2,596	530	3,126	1,001	139	1,140	1,215	298	1,513	564	121	685	
奈良市職業紹介所	57	25	82	60	16	76	32	4	36	27	8	35	24	5	29	
小計	57	25	82	60	16	76	32	4	36	27	8	35	24	5	29	
津市職業紹介所	74	25	99	40	9	49	23	1	24	43	6	49	21	3	24	
小計	74	25	99	40	9	49	23	1	24	43	6	49	21	3	24	
米子市職業紹介所	57	41	98	56	22	78	89	6	95	68	24	92	26	19	45	
小計	57	41	98	56	22	78	89	6	95	68	24	92	26	19	45	
松江市職業紹介所	40	30	70	70	11	81	17	1	18	50	9	59	18	7	25	
小計	40	30	70	70	11	81	17	1	18	50	9	59	18	7	25	
岡山市職業紹介所	211	138	349	260	94	354	145	47	192	189	80	269	112	49	161	
岡山市西大寺町職業紹介所	265	148	413	258	90	348	106	24	130	174	79	253	109	49	158	
愛媛岡山市支部職業紹介所	158	63	221	55	20	75	36	9	45	38	20	58	32	15	47	
倉敷職業紹介所	10	13	23	39	13	52	5	1	6	12	9	21	3	2	5	
小計	644	362	1,006	612	217	829	292	81	373	413	188	601	256	115	371	
廣島市中央職業紹介所	182	109	291	197	53	250	123	14	137	151	54	205	53	24	77	
廣島市東松原職業紹介所	349	176	525	400	133	533	88	17	105	811	124	435	128	62	190	
尾道市職業紹介所	60	61	121	56	44	100	11	2	13	60	63	123	32	39	71	
福山市職業紹介所	130	131	261	130	94	224	66	53	119	78	70	148	42	40	82	
廣島市職業紹介所	56	42	98	75	14	89	59	2	61	44	14	58	18	13	31	
廣島商工會職業紹介所	64	2	66	100	8	108	104	3	107	32	1	33	24	-	24	
小計	841	521	1,362	958	346	1,304	451	91	542	676	326	1,002	297	178	475	

東京地方職業紹介事務局管内  
昭和三年八月分 職業紹介所別職業紹介月報 (續)

職業紹介所別	求人數			求職者數						紹介狀交付數			就職者數			
	男	女	計	登録數		再來數		男	女	計	男	女	計	男	女	計
				男	女	男	女									
新潟市職業紹介所	40	112	152	102	112	214	21	7	28	41	99	140	30	92	122	
新潟市職業紹介所	17	22	39	27	6	33	6	-	6	12	2	14	6	2	8	
新潟市職業紹介所	315	182	497	213	33	246	113	21	134	185	22	207	164	18	182	
新潟市職業紹介所	4	13	17	4	2	6	-	-	-	2	-	2	-	-	2	
新潟市職業紹介所	41	172	213	73	62	135	25	4	29	34	48	82	26	46	72	
新潟市職業紹介所	3	1	4	3	1	4	-	-	-	-	-	-	3	1	4	
新潟市職業紹介所	71	398	469	18	63	81	-	-	-	18	63	81	18	63	81	
新潟市職業紹介所	4	46	50	2	27	29	-	-	-	1	25	26	2	20	22	
新潟市職業紹介所	2	443	445	4	73	77	-	-	-	2	73	75	1	40	41	
新潟市職業紹介所	497	1,389	1,886	446	379	825	165	32	197	293	334	627	250	284	534	
新潟市職業紹介所	57	31	88	46	19	65	3	-	3	26	13	39	22	12	34	
新潟市職業紹介所	18	2	20	11	2	13	1	-	1	9	2	11	5	2	7	
新潟市職業紹介所	51	41	92	56	37	93	3	3	6	41	33	74	33	32	65	
新潟市職業紹介所	126	74	200	113	58	171	7	3	10	76	48	124	60	46	106	
新潟市職業紹介所	32	9	41	68	4	72	8	1	9	26	4	30	20	2	22	
新潟市職業紹介所	69	11	80	54	4	58	1	2	3	49	6	55	31	14	35	
新潟市職業紹介所	25	10	35	31	1	32	8	-	8	20	1	21	14	1	15	
新潟市職業紹介所	30	19	49	28	13	41	-	-	-	17	11	28	13	11	24	
新潟市職業紹介所	22	8	30	40	8	48	2	1	3	13	4	17	13	4	17	
新潟市職業紹介所	178	57	235	221	30	251	19	4	23	125	26	151	91	22	113	
新潟市職業紹介所	37	16	53	32	12	44	3	-	3	17	8	25	12	8	20	
新潟市職業紹介所	37	16	53	32	12	44	3	-	3	17	8	25	12	8	20	
新潟市職業紹介所	150	42	192	91	16	107	21	3	24	47	11	58	34	11	45	
新潟市職業紹介所	31	17	48	22	4	26	-	-	-	15	2	17	11	3	14	
新潟市職業紹介所	107	39	146	54	10	64	23	1	24	25	4	29	17	4	21	
新潟市職業紹介所	6	-	6	6	1	7	-	-	-	2	1	3	2	-	2	
新潟市職業紹介所	294	98	392	173	31	204	44	4	48	89	18	107	64	18	82	
新潟市職業紹介所	61	27	88	72	22	94	8	5	13	40	14	54	26	6	32	
新潟市職業紹介所	29	23	52	34	10	44	-	-	-	18	6	24	18	6	24	
新潟市職業紹介所	90	50	140	106	32	138	8	5	13	58	20	78	44	12	56	
新潟市職業紹介所	82	7	89	152	14	166	122	7	129	130	11	141	49	4	53	
新潟市職業紹介所	66	48	114	50	30	80	13	6	19	44	29	73	44	29	73	
新潟市職業紹介所	148	55	203	202	44	246	135	13	148	174	40	214	93	33	126	
新潟市職業紹介所	25	6	31	62	5	67	6	1	7	26	2	28	23	2	25	
新潟市職業紹介所	94	15	109	137	3	140	20	-	20	66	2	68	39	2	41	
新潟市職業紹介所	46	19	65	56	13	69	10	3	13	49	11	60	43	11	54	
新潟市職業紹介所	165	40	205	255	21	276	36	4	40	141	15	156	105	15	120	
新潟市職業紹介所	135	36	171	293	23	286	39	4	43	131	16	147	88	9	97	
新潟市職業紹介所	35	8	43	58	7	65	27	6	33	42	5	47	24	2	26	
新潟市職業紹介所	170	44	214	321	30	351	66	10	76	173	21	194	112	11	123	
新潟市職業紹介所	80	12	92	127	4	131	18	3	21	79	4	83	63	4	67	
新潟市職業紹介所	61	39	100	116	41	157	5	-	5	55	33	88	49	32	81	
新潟市職業紹介所	48	4	52	41	4	45	5	1	6	47	4	51	31	4	35	
新潟市職業紹介所	35	26	61	45	9	54	25	9	34	34	11	45	26	5	31	
新潟市職業紹介所	224	81	305	329	58	387	53	13	66	215	52	267	169	45	214	
新潟市職業紹介所	73	30	103	71	16	87	5	1	6	51	10	61	46	6	52	
新潟市職業紹介所	7	-	7	14	-	14	9	-	9	6	-	6	4	-	4	
新潟市職業紹介所	80	30	110	85												

名古屋地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (三十二箇所)  
昭和三年八月分

職業紹介所別	求 人 數			求 職 者 數						紹介狀交付數			就 職 者 數		
				登 録 數		再 來 數									
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
名古屋市中央職業紹介所	113	167	780	937	258	1,190	397	33	412	648	71	718	233	40	273
名古屋市熱田職業紹介所	336	50	386	492	27	519	134	10	144	240	22	262	115	14	129
名古屋市千種職業紹介所	269	58	326	333	42	375	203	9	212	211	34	245	98	17	115
愛知職業紹介所	98	12	110	109	2	111	7	—	7	76	1	77	61	1	62
慈文會職業紹介所	144	9	153	127	1	128	3	—	3	77	—	77	37	—	37
名古屋市青年職業紹介所	7	38	45	41	8	49	39	7	46	7	6	13	5	6	11
豊橋市職業紹介所	38	6	44	103	8	111	3	—	3	42	7	49	40	7	47
岡崎市職業紹介所	150	29	179	77	12	89	7	3	10	35	3	38	28	2	30
一宮市職業紹介所	52	3	55	53	4	57	2	—	2	25	1	26	10	—	10
小 計	1,706	372	2,078	2,272	357	2,629	777	62	839	1,361	145	1,506	627	87	714
静岡市職業紹介所	96	79	175	190	56	246	48	23	70	113	56	169	74	39	113
沼津市職業紹介所	102	55	157	125	30	155	44	4	48	69	22	91	35	17	52
濱松市職業紹介所	171	53	224	211	35	246	54	11	65	197	34	231	87	23	110
清水市職業紹介所	61	23	84	85	14	99	21	7	28	24	6	30	18	5	23
三島町職業紹介所	49	11	60	44	6	50	7	1	8	30	3	33	21	3	24
富士職業紹介所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小 計	479	221	700	655	141	796	174	45	219	433	121	554	235	87	322
津市職業紹介所	12	12	24	20	10	30	—	1	1	12	11	23	8	7	15
四日市市職業紹介所	17	2	19	38	2	40	2	—	2	19	—	19	13	—	13
宇治山田市職業紹介所	16	13	29	26	5	31	25	—	25	50	5	55	7	4	11
宇治山田県済濟會職業紹介所	15	4	19	21	5	26	2	1	3	22	1	23	12	—	12
桑名町職業紹介所	8	1	9	17	—	17	1	—	1	7	—	7	3	—	3
上野町職業紹介所	11	3	14	10	1	11	1	—	1	4	—	4	3	—	3
松坂町職業紹介所	11	8	19	19	5	24	—	—	—	8	4	12	5	4	9
小 計	90	43	133	151	28	179	31	2	33	122	21	143	51	15	66
岐阜市職業紹介所	141	60	201	213	50	263	2	—	2	177	56	233	113	34	147
大垣職業紹介所	22	14	36	52	14	66	—	2	2	17	10	27	9	5	14
小 計	163	74	237	265	64	329	2	2	4	194	66	260	122	39	161
福井縣職業紹介所	145	84	229	199	35	234	30	6	36	99	36	135	73	27	100
小 計	145	84	229	199	35	234	30	6	36	99	36	135	73	27	100
金澤市職業紹介所	181	184	365	230	89	319	129	30	159	103	69	172	57	56	113
小松町職業紹介所	12	6	18	5	1	6	—	—	—	—	—	—	1	—	1
大聖寺町職業紹介所	5	2	7	11	3	14	—	1	1	6	2	8	3	1	4
七尾町職業紹介所	3	4	7	2	2	4	—	—	—	1	1	2	—	1	1
小 計	201	196	397	248	95	343	129	31	160	110	72	182	61	58	119
富山市職業紹介所	47	25	72	41	14	55	—	—	—	11	10	21	5	9	14
伏木町職業紹介所	47	25	71	102	23	125	30	8	38	37	11	48	31	6	37
高岡市職業紹介所	29	16	45	36	10	46	5	—	5	13	11	24	6	5	11
小 計	123	65	188	179	47	226	35	8	43	61	32	93	42	20	62
名古屋地方合計	2,907	1,055	3,962	3,969	767	4,736	1,178	156	1,334	2,380	493	2,873	1,211	333	1,544
四地方合計	41,178	17,184	58,362	48,980	10,155	59,135	19,304	2,970	22,274	25,771	7,972	33,743	12,885	4,548	17,433

大阪地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (續)  
昭和三年八月分

職業紹介所別	求 人 數			求 職 者 數						紹介狀交付數			就 職 者 數		
				登 録 數		再 來 數									
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
和歌山市職業紹介所	37	11	48	63	12	75	2	—	2	59	3	62	43	2	45
小 計	37	11	48	63	12	75	2	—	2	59	3	62	43	2	45
徳島市職業紹介所	230	240	470	264	123	387	140	36	176	264	177	441	77	63	140
小 計	230	240	470	264	123	387	140	36	176	264	177	441	77	63	140
高松市職業紹介所	101	117	218	73	92	165	—	—	—	50	78	128	43	59	102
小 計	101	117	218	73	92	165	—	—	—	50	78	128	43	59	102
香川縣職業紹介所	16	11	27	42	9	51	1	—	1	19	6	25	11	6	17
小 計	117	128	245	115	101	216	1	—	1	69	84	153	54	65	119
松山市職業紹介所	69	98	167	101	44	145	26	10	36	55	39	94	34	21	55
支那支店職業紹介所	—	99	99	—	62	62	—	8	8	—	50	50	—	28	28
愛媛縣職業紹介所	35	12	47	53	12	65	25	3	28	38	9	47	18	7	25
宇和島市職業紹介所	58	107	165	46	87	133	—	—	—	35	76	111	26	56	82
今治市職業紹介所	68	28	96	106	23	129	7	—	7	49	17	66	45	17	62
津浦町職業紹介所	47	117	164	56	44	100	8	—	8	14	15	29	10	14	24
三浦町職業紹介所	2	5	7	5	4	9	9	—	9	—	—	—	—	—	—
八幡町職業紹介所	7	12	19	10	12	22	—	—	—	8	12	20	5	5	10
大石町職業紹介所	286	478	764	377	288	665	75	33	108	213	224	437	139	151	290
小 計	286	478	764	377	288	665	75	33	108	213	224	437	139	151	290
高知市職業紹介所	55	88	143	156	58	214	3	6	9	70	37	107	28	12	40
小 計	55	88	143	156	58	214	3	6	9	70	37	107	28	12	40
大阪地方合計	11,672	6,168	17,840	19,404	4,226	23,630	10,028	1,187	11,215	7,767	3,232	10,999	3,870	1,790	5,660

福岡地方職業紹介事務局管内 職業紹介所別職業紹介月報 (十九箇所)  
昭和三年八月分

職業紹介所別	求 人 數			求 職 者 數						紹介狀交付數			就 職 者 數		
				登 録 數		再 來 數									
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
下關市職業紹介所	126	66	192	177	37	214	28	4	32	90	26	116	48	15	63
和歌部市職業紹介所	8	—	8	7	—	7	—	—	—	8	—	8	7	—	7
宇部市職業紹介所	13	2	15	31	2	33	—	—	—	6	—	6	3	—	3
小 計	147	68	215	215	39	254	28	4	32	104	26	130	58	15	73
福岡縣職業紹介所	499	363	862	461	97	558	162	31	193	244	88	332	90	38	128
門司市職業紹介所	221	73	294	245	41	286	68	24	92	139	26	165	101	18	119
小倉市職業紹介所	193	38	231	201	19	220	43	1	44	107	15	122	65	10	75
若松市職業紹介所	200	84	284	200	35	235	68	4	72	181	35	216	141	28	169
久留米市職業紹介所	188	48	236	240	24	264	50	1	51	151	21	172	115	13	128
八幡市職業紹介所	50	72	122	149	33	182	21	7	28	51	37	88	24	22	46
小 計	187	49	236	163	20	183	22	3	25	129	17	146	85	12	97
長崎縣職業紹介所	42	21	63	78	11	89	12	—	12	45	9	54	23	2	25
小 計	1,580	748	2,328	1,737	280	2,017	446	71	517	1,047	248	1,295	644	143	787
長崎市職業紹介所	140	96	236	258	93	351	227	33	260	155	64	219	46	26	72
世保市職業紹介所	155	43	198	148	35	183	26	16	42	88	34	122	49	15	64
小 計	295	139	434	406	128	534	253	49	302	243	98	341	95	41	136
佐賀市職業紹介所	141	203	344	229	177	406	48	45	93	168	191	359	51	90	141
小 計	141	203	344	229	177	406	48	45	93	168	191	359	51	90	141
熊本縣職業紹介所	169	147	316	232	101	333	78	35	113	106	95	201	49	43	92
小 計	169	147	316	232	101	333	78	35	113	106	95	201	49	43	92
宮崎縣職業紹介所	112	58	170	162	31	193	44	9	53	100	17	117	61	13	74
小 計	14	4	18	10	4	14	3	—	3	6	1	7	5	1	6
宮崎市職業紹介所	126	62	188	172	35	207	47	9	56	106	18	124	66	14	80
小 計	113	100	213	138	70	208	—	—	—	48	64	112	36	88	124
鹿兒島縣職業紹介所	16	16	32	16	16	32	—	—	—	16	16	32	9	16	25
小 計	129	116	245	154	86	240	—	—	—	64	80	144	45	54	99
福岡地方合計	2,587	1,483	4,070	3,155	846	4,001	900	213	1,113	1,838	756	2,594	1,008	400	1,408

八月分日備労働紹介月報 (三旬合計) (三十一箇所)

管轄別	職業紹介所別	求人数		求職者数		紹介件数		月内ノ主ナル求人						
		男	女	男	女	男	女	業種別	労働賃金					
									最高	最低	普通			
東京地方職業紹介事務局管内	北海道													
	札幌市職業紹介所	14,523	2,791	17,314	15,075	2,853	17,928	14,396	2,791	17,189	下水工事	2.30	1.40	1.80
	函館市職業紹介所	817	6	823	1,015	15	1,030	820	5	825	市内雑役	1.80	1.30	1.50
	旭川市職業紹介所	2,759	59	2,818	3,098	66	3,164	2,756	57	2,813	土木建築	2.20	1.50	1.80
	小樽市職業紹介所	9	—	9	9	—	9	9	—	9	雑役人夫	1.80	1.30	1.55
	室蘭市職業紹介所	386	210	596	386	210	596	386	210	596	島崎雑役	2.00	1.60	1.70
	計	18,494	3,066	21,560	19,583	3,144	22,727	18,367	3,063	21,430				
	東関東													
	東京市玉姫職業紹介所	12,004	—	12,004	12,492	—	12,492	12,004	—	12,004	測量人夫	2.50	1.30	1.50
	新宿職業紹介所	6,767	31	6,798	9,177	31	9,208	6,767	31	6,798	人夫	1.50	1.30	1.40
	芝浦職業紹介所	21,603	640	22,243	21,714	640	22,354	21,603	640	22,243	土人	2.94	1.50	1.70
	深川公園職業紹介所	24,065	732	24,797	28,397	746	29,143	28,065	732	28,797	土人	2.30	1.40	1.50
	江東橋職業紹介所	19,410	—	19,410	21,765	—	21,765	19,410	—	19,410	土人	1.90	1.60	1.80
	同 技術労働職業紹介所	16,299	—	16,299	17,993	—	17,993	16,299	—	16,299	大工	2.70	2.10	2.50
	同 労働共済職業紹介所	1,474	—	1,474	2,176	—	2,176	1,474	—	1,474	水掘人夫	3.00	1.80	2.30
同 世軍月島職業紹介所	2,032	—	2,032	2,581	—	2,581	2,032	—	2,032	電線敷設手	1.50	1.30	1.30	
同 救世軍千住職業紹介所	602	—	602	822	—	822	591	—	591	人夫	2.70	1.32	1.70	
同 東府千住職業紹介所	188	—	188	272	—	272	158	—	158	土木手	2.30	1.40	1.80	
同 同 王子職業紹介所	379	—	379	682	—	682	379	—	379	人夫雑役	2.00	1.20	1.50	
計	103,823	1,403	110,226	118,071	1,417	119,488	108,782	1,403	110,185					
神奈川														
横浜市中央職業紹介所	10,432	—	10,432	10,817	—	10,817	10,432	—	10,432	官公署人夫	3.00	1.50	1.65	
同 神奈川職業紹介所	1,900	58	1,958	2,111	58	2,169	1,900	58	1,958	土人	2.20	1.60	1.80	
同 保土ヶ谷職業紹介所	91	—	91	106	—	106	91	—	91	土人	2.00	1.60	1.70	
同 同 川崎市職業紹介所	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
計	12,423	58	12,481	13,034	58	13,092	12,423	58	12,481					
小														
計	139,740	4,527	144,267	150,688	4,619	155,307	139,572	4,524	144,096					
大阪地方職業紹介事務局管内	大阪府													
	大阪市京橋職業紹介所	14,002	62	14,064	18,338	62	18,400	14,002	62	14,064	仲仕	4.00	2.00	3.50
	同 築港職業紹介所	1,953	—	1,953	2,380	—	2,380	1,953	—	1,953	仲仕	4.00	2.50	3.20
	同 安治川職業紹介所	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	同 今宮職業紹介所	4,192	—	4,192	4,486	—	4,486	4,192	—	4,192	雑役	5.10	1.13	1.65
	計	20,147	62	20,209	25,204	62	25,266	20,147	62	20,209				
	兵庫													
	神戸市東部労働紹介所	10,870	330	11,250	12,597	380	12,977	10,870	380	11,250	土人	2.50	1.10	2.00
	同 西部労働紹介所	6,385	181	6,566	7,199	181	7,380	6,385	181	6,566	雑役	2.50	1.34	1.50
	計	17,255	561	17,816	19,796	561	20,357	17,255	561	17,816				
	愛媛													
	三津濱町職業紹介所	185	43	228	185	43	228	185	43	228	人夫	1.50	1.00	1.30
	計	185	43	228	185	43	228	185	43	228				
	小													
	計	37,587	666	38,253	45,185	666	45,851	37,587	666	38,253				
名古屋地方職業紹介事務局管内	名古屋市日設労働紹介所	19,393	294	19,687	22,470	294	22,764	19,393	294	19,637	官公署人夫	2.01	1.20	1.40
	同 熱田労働紹介所	5,782	203	5,985	6,090	203	6,293	5,782	203	5,985	雑役	3.30	1.00	1.50
	同 愛知職業紹介所	422	—	422	455	—	455	422	—	422	土工人夫	1.80	.70	1.30
	同 同 小計	25,597	497	26,094	29,015	497	29,512	25,597	497	26,094				
	同 同 同 小計	1,984	528	2,512	2,181	631	2,812	1,984	528	2,512	工廠雑役	2.50	1.00	1.80
	同 同 同 小計	1,989	413	2,402	2,078	423	2,501	1,989	413	2,402	石工	2.70	2.70	2.70
	同 同 同 小計	3,973	941	4,914	4,259	1,054	5,313	3,973	941	4,914				
	同 同 同 小計													
	同 同 同 小計													
	同 同 同 小計													

四一

昭和三年八月分日備労働紹介旬報

旬別	月別	取扱い日	天候	求人	求職者	紹介件数	旬内ノ重ナル求人										
							賃金										
							最高	最低	普通								
上旬	分	(紹介所三十一ヶ所)	1日水	晴	5,068	180	5,248	6,065	190	6,258	5,063	180	5,243	人夫	2.30	1.00	1.30
			2日木	晴	5,887	221	6,108	6,831	229	7,060	5,855	221	6,106	人夫	1.30	.75	.90
			3日金	晴	5,318	191	5,509	6,343	196	6,539	5,303	191	5,494	人夫	1.20	.40	.90
			4日土	曇	5,254	208	5,462	6,458	215	6,673	5,254	208	5,462	人夫	2.50	1.10	1.70
			5日日	曇	5,019	200	5,219	6,174	208	6,382	4,999	200	5,199	人夫	3.00	1.23	1.40
			6日月	曇	6,522	222	6,744	7,413	232	7,645	6,519	222	6,741	人夫	1.80	1.20	1.50
			7日火	曇	7,097	243	7,340	7,834	249	8,083	7,088	243	7,331	人夫	5.10	1.13	1.70
			8日水	曇	7,220	241	7,461	7,873	249	8,122	7,221	241	7,462	人夫	3.00	2.00	2.70
			9日木	曇	7,238	264	7,502	7,879	268	8,147	7,268	264	7,532	人夫	4.65	2.70	2.70
			10日金	曇	6,522	237	6,760	7,159	243	7,402	6,524	227	6,761	人夫	2.70	1.70	2.00
計			61,196	2,207	63,403	70,032	2,279	72,311	61,124	2,207	63,331						
中旬	分	(紹介所三十一ヶ所)	11日土	晴	7,342	245	7,487	7,886	255	8,141	7,238	245	7,483	人夫	2.60	1.00	1.50
			12日日	晴	5,899	228	6,127	6,624	238	6,862	5,899	228	6,127	人夫	1.22	.75	.90
			13日月	晴	7,440	241	7,681	8,084	252	8,336	7,423	241	7,664	人夫	3.00	1.10	1.80
			14日火	曇	7,439	232	7,671	8,076	247	8,323	7,431	232	7,663	人夫	5.10	1.00	1.50
			15日水	晴	6,962	112	7,074	7,641	118	7,759	6,961	112	7,073	人夫	.95	.85	.85
			16日木	晴	6,537	108	6,645	7,193	114	7,307	6,537	108	6,645	人夫	2.50	1.30	1.50
			17日金	雨	7,297	185	7,482	7,919	192	8,111	7,297	185	7,482	人夫	3.00	2.00	2.70
			18日土	雨	6,793	218	7,011	7,609	225	7,834	6,793	217	7,010	人夫	4.00	2.50	3.20
			19日日	雨	3,956	154	4,110	4,792	159	4,951	3,956	154	4,110	人夫	3.40	2.50	3.20
			20日月	曇	5,549	210	5,759	6,232	222	6,454	5,537	210	5,747	人夫	3.00	3.00	3.00
計			65,114	1,933	67,047	72,056	2,022	74,078	65,072	1,932	67,004						
下旬	分	(紹介所三十一ヶ所)	21日火	晴	7,596	246	7,842	8,126	248	8,374	7,593	245	7,838	人夫	2.70	1.00	1.50
			22日水	晴	7,578	240	7,818	8,127	244	8,371	7,573	240	7,813	人夫	1.50	.75	.80
			23日木	曇	7,793	232	8,030	8,301	237	8,538	7,785	232	8,017	人夫	2.50	1.30	1.50
			24日金	曇	7,730	211	7,941	8,286	213	8,499	7,730	211	7,941	人夫	2.94	1.34	1.80
			25日土	曇	7,787	229	8,016	8,326	235	8,561	7,783	229	8,012	人夫	4.65	1.13	1.55
			26日日	晴	6,269	196	6,465	6,964	201	7,165	6,267	196	6,463	人夫	2.70	2.70	2.70
			27日月	晴	7,560	264	7,824	8,213	268	8,481	7,557	264	7,821	人夫	3.00	2.00	2.40
			28日火	晴	7,184	223	7,413	7,768	231	7,999	7,183	228	7,411	人夫	3.00	1.20	1.50
			29日水	曇	7,159	229	7,388	7,848	231	8,079	7,156	229	7,385	人夫	2.50	1.30	1.80
			30日木	曇	6,477	200	6,677	7,136	205	7,341	6,472	200	6,672	人夫	2.70	1.60	2.00
31日金	曇	7,449	215	7,664	7,964	222	8,186	7,434	215	7,649	人夫	4.50	2.00</				

昭和三年自一月至六月 道府縣外職業紹介成績 (二)

管轄別	取扱道府縣別	道府縣別	求人数	紹介件数	就職者数	管轄別	取扱道府縣別	道府縣別	求人数	紹介件数	就職者数
青森	山形	東小計	3	3	3	大阪地方職業紹介事務局管内	兵庫	愛知	1	1	1
		京小計	3	3	3			廣島	28	28	28
		福島	2	2	2			徳島	176	111	54
		東山	22	19	8			香川	7	7	5
		神奈川	1	1	1			徳島	2	2	2
		静岡	1	1	1			香川	2	2	2
		伊豆	2	3	2			香川	2	2	2
		秋田	2	2	2			香川	221	156	97
		北小計	3	1	—			徳島	7	—	—
		岩手	20	9	8			徳島	3	2	1
		新潟	57	41	41			徳島	4	3	3
		東山	26	31	23			徳島	14	5	4
		神奈川	1	1	1			徳島	16	16	16
		北山	59	45	41			徳島	2	2	2
		福山	3	3	3			徳島	1	1	1
山宮	1	1	1	徳島	19	19	19				
大京	1	1	1	徳島	4	4	2				
朝野	1	1	1	徳島	4	4	2				
野小計	2	2	2	徳島	2	2	2				
野小計	175	139	126	徳島	4	4	4				
東京地方合計	3,845	2,628	2,220	徳島	2	2	2				
大阪	京都	兵庫	67	35	19	徳島	4	4	4		
		京川	2	—	—	徳島	1	1	1		
		奈良	102	78	78	徳島	2	1	1		
		東山	10	7	7	徳島	31	9	6		
		神奈川	2	2	2	徳島	17	3	2		
		京都	21	2	1	徳島	4	1	1		
		富山	1	1	1	徳島	2	2	1		
		廣島	1	1	1	徳島	1	1	1		
		静岡	1	1	1	徳島	55	16	11		
		愛三	1	1	1	徳島	31	9	6		
		福朝	1	1	1	徳島	17	3	2		
		朝青	66	57	57	徳島	4	1	1		
		青小計	1	—	—	徳島	1	1	1		
		山小計	277	187	170	徳島	1	1	1		
		京都	4	4	4	徳島	10	7	7		
東大	1	1	1	徳島	19	15	12				
小計	14	14	6	徳島	1	—	—				
山口	19	19	11	徳島	6	—	—				
山分	1	1	1	徳島	25	24	16				
山島	1	1	1	徳島	14	4	2				
山島	1	1	1	徳島	19	12	7				
山島	1	1	1	徳島	1	1	1				
山島	1	1	1	徳島	1	1	—				
山島	1	1	1	徳島	1	1	1				

昭和三年自一月至六月 道府縣外職業紹介成績 (一)

管轄別	取扱道府縣別	道府縣別	求人数	紹介件数	就職者数	管轄別	取扱道府縣別	道府縣別	求人数	紹介件数	就職者数
北海道	東京	東山	10	10	9	東京地方職業紹介事務局管内	山梨	東山	14	22	9
		兵庫	1	1	1			山梨	14	22	9
		山口	1	1	1			山梨	9	4	4
		小計	12	12	11			山梨	1	1	1
		埼玉	3	2	—			山梨	1	1	1
		宮城	3	3	3			山梨	7	5	4
		神奈川	68	46	22			山梨	24	24	21
		山崎	1	1	1			山梨	3	3	3
		山崎	56	97	36			山梨	45	38	34
		山崎	1	1	1			山梨	1	1	1
		山崎	8	4	4			山梨	52	37	34
		山崎	1	1	1			山梨	914	405	391
		山崎	374	295	287			山梨	315	166	116
		山崎	1	1	1			山梨	—	5	5
		山崎	2	2	2			山梨	82	33	29
山崎	3	1	—	山梨	63	36	30				
山崎	5	4	4	山梨	81	148	145				
山崎	4	4	3	山梨	2	32	30				
山崎	1	1	1	山梨	332	191	183				
山崎	1	1	1	山梨	102	72	66				
山崎	1	1	1	山梨	138	53	53				
山崎	532	464	367	山梨	79	17	16				
山崎	85	75	46	山梨	296	114	114				
山崎	1	1	1	山梨	3	1	1				
山崎	63	99	98	山梨	3	3	3				
山崎	149	175	145	山梨	1	1	1				
山崎	102	90	79	山梨	7	3	3				
山崎	3	3	1	山梨	31	17	17				
山崎	1	1	1	山梨	10	38	36				
山崎	1	1	—	山梨	1	1	1				
山崎	3	3	1	山梨	1	1	1				
山崎	1	1	1	山梨	3	3	—				
山崎	111	99	82	山梨	2	2	2				
山崎	2	2	—	山梨	2,519	1,380	1,278				
山崎	10	15	7	山梨	11	8	8				
山崎	12	11	11	山梨	1	1	1				
山崎	1	1	1	山梨	1	1	—				
山崎	25	29	19	山梨	13	10	9				
山崎	3	3	3	山梨	5	4	4				
山崎	3	3	3	山梨	1	1	1				
山崎	50	12	4	山梨	47	31	22				
山崎	45	108	35	山梨	14	23	13				
山崎	1	1	1	山梨	67	59	40				
山崎	15	13	13	山梨	5	6	2				
山崎	3	3	3	山梨	11	9	9				
山崎	114	137	56	山梨	1	1	1				
山崎	2	1	1	山梨	8	8	6				
山崎	1	2	1	山梨	1	1	1				
山崎	3	3	2	山梨	27	26	20				



昭和三年七月營利職業紹介月報 (府縣別及職業別)

Main table with columns: 地方局事別, 道府縣別, 求人數 (男, 女, 計), 求職者數 (登錄數, 再來數), 紹介件數 (男, 女, 計), 就職者數 (男, 女, 計), 營業者 (總數, 取扱者數). Includes sub-sections for 東京地方, 大阪地方, 名古屋地方, and 關東地方.

備考 日籍労働者ノ府縣別ハ省略ス

昭和三年 自一月至六月 道府縣外職業紹介成績 (三)

Table showing inter-prefecture job introduction results with columns: 管轄別, 取扱道府縣別, 道府縣別, 求人數, 紹介件數, 就職者數, 管轄別, 取扱道府縣別, 道府縣別, 求人數, 紹介件數, 就職者數.

四四

昭和三年八月賃銀概況 (商工省調査)

本月ニ於ケル十三都市賃銀指数ハ總平均 101.6 ニシテ之ヲ前月ノ 101.5 ニ比較スレバ一厘ノ昂騰ニ當リ調査種類五十二種中前月ニ比シ昂騰セルモノ十九種、低下セルモノ十六種、保合ノモノ十七種ナリ尙本月ノ總平均ヲ前年同月ニ比較スルトキハ一分ノ昂騰ニ當ル。而シテ之ヲ十二分類別ニ示セハ次ノ如シ

業 種	都 市 別	東 京	大 阪	神 戸	京 都	名 古 屋	横 濱	廣 島	金 澤	仙 臺	小 樽	福 岡	新 潟	高 知	平 均	指 数		
																平 均	前 月	前 年
1	製 絲 女 工	1.02	—	1.10	1.15	0.78	—	1.00	1.00	1.00	—	—	—	1.10	1.02	106	100	96
2	繅 絲 紡 績 女 工	1.28	1.13	1.56	1.03	1.04	—	1.16	1.00	.85	—	1.08	1.10	—	1.12	104	103	105
3	絹 織 造 女 工	1.06	—	—	.85	1.05	—	—	.80	.65	—	.80	—	—	.87	99	98	102
4	綿 力 織 造 女 工	.97	1.19	1.90	1.20	1.20	—	.68	.80	.80	—	1.57	.65	.53	1.04	107	103	101
5	絹 手 織 造 女 工	2.15	—	—	1.50	.83	—	—	.90	1.00	—	.85	—	.83	1.13	103	101	96
6	莫 大 小 編 織 男 工	1.97	1.95	1.75	1.80	1.20	1.50	1.52	—	—	1.67	—	—	1.70	1.67	100	97	95
7	莫 大 小 編 織 女 工	1.19	1.00	1.05	1.10	.40	.60	.63	—	—	.70	—	—	.75	.82	98	100	97
8	旋 盤 工	2.44	2.36	2.13	2.70	3.23	2.23	3.02	1.80	2.10	2.23	1.76	1.90	2.30	2.32	100	101	98
9	仕 上 工	2.60	2.53	2.13	2.60	3.17	2.17	3.23	1.90	2.10	2.23	1.90	1.90	2.20	2.36	101	101	100
10	鑄 造 工	2.54	3.47	2.02	2.70	3.85	2.23	3.14	1.80	2.10	2.30	1.77	1.75	2.00	2.44	108	108	100
11	鍛 冶 工	2.46	1.72	2.09	2.70	3.71	2.07	2.47	2.20	2.10	2.20	1.88	1.75	2.50	2.30	106	105	102
12	木 型 工	2.89	2.25	1.85	2.70	3.10	2.35	2.47	2.50	2.50	2.50	2.20	1.90	2.20	2.42	104	105	106
13	陶 器 工	1.72	1.77	1.50	2.50	1.90	3.50	—	1.00	1.80	—	2.50	—	1.50	1.97	98	98	104
14	硝 子 工	2.50	2.32	1.98	—	2.00	2.63	1.69	1.90	1.50	3.00	2.00	1.48	1.55	2.05	105	102	109
15	セメント製造工	3.05	1.55	2.40	—	1.74	—	—	—	—	—	—	—	1.61	2.07	101	105	98
16	煉 瓦 工	1.52	2.32	1.10	1.70	1.50	—	—	1.60	2.20	—	1.95	1.00	—	1.65	94	97	113
17	瓦 工	2.12	—	1.60	2.90	—	1.80	1.30	1.60	2.50	—	1.95	—	1.40	1.91	95	98	95
18	製 藥 工	1.51	1.48	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	1.50	—	1.62	113	112	106
19	機 械 工	1.70	1.30	1.30	—	1.80	—	1.49	1.00	—	—	—	1.55	—	1.45	84	84	81
20	機 寸 工	.85	.70	.72	—	.80	—	.72	.40	—	—	—	.55	—	.68	87	86	87
21	榨 油 工	1.93	1.75	1.90	—	1.85	2.15	1.80	2.40	1.20	2.10	2.00	—	1.70	1.89	100	99	100
22	和 紙 工	1.45	—	1.35	—	—	—	—	—	—	1.60	—	—	1.50	1.48	111	111	100
23	洋 紙 工	1.89	1.46	1.62	1.85	—	—	1.79	—	—	—	—	1.65	—	1.71	106	105	105
24	製 革 工	2.81	2.00	2.37	—	—	2.50	1.24	—	—	—	—	—	—	2.18	95	94	94
25	製 粉 (小麥) 工	1.83	1.97	1.61	—	2.20	2.25	—	—	1.90	1.85	—	1.00	—	1.83	111	110	101
26	清 酒 工	2.50	1.18	1.95	—	—	—	2.82	1.93	1.47	1.64	—	1.50	1.82	95	95	94	
27	醬 油 工	2.50	2.50	1.47	1.67	2.00	2.25	1.82	1.43	1.93	1.75	1.23	1.40	1.70	1.82	113	113	111
28	精 製 工	1.80	2.00	2.29	—	2.02	—	—	—	—	1.80	—	—	—	1.98	115	113	113
29	菓 子 工	1.67	1.46	1.92	2.00	1.25	1.33	1.30	1.80	1.50	1.70	1.33	1.50	1.20	1.54	93	95	99
30	菓 子 工	1.92	1.85	—	1.40	—	1.69	1.60	—	—	—	—	—	—	1.69	100	100	89
31	洋 服 工	3.50	3.00	2.20	3.40	2.50	2.50	1.90	1.80	2.50	1.90	2.00	1.70	2.00	2.38	96	101	90
32	靴 工	2.66	2.50	2.75	3.50	2.00	2.85	2.50	2.00	2.00	2.00	1.80	1.70	1.40	2.20	104	106	104
33	下 駄 工	1.90	2.28	1.95	1.75	2.40	1.75	1.45	1.65	1.60	1.70	2.00	1.30	1.60	1.79	93	93	95
34	大 工	3.10	3.30	3.15	3.20	3.00	3.50	2.50	2.75	2.80	2.50	2.50	2.00	2.84	100	100	103	
35	左 官 工	3.67	3.40	3.50	3.50	3.00	3.50	3.00	2.50	3.50	3.50	3.00	2.60	2.00	3.13	105	105	107
36	石 工	4.03	3.80	4.10	3.50	3.50	3.00	2.90	3.00	3.00	3.40	3.00	2.90	2.00	3.24	97	98	102
37	煉 瓦 工	3.57	3.50	3.25	3.50	3.00	3.50	2.80	3.00	3.50	3.50	3.00	2.50	2.30	3.15	95	95	98
38	瓦 工	3.80	4.50	3.40	3.20	4.50	3.60	3.00	2.80	2.50	3.50	3.00	2.80	2.50	3.32	99	100	102
39	ベ ン キ 工	3.00	3.00	3.25	3.00	2.50	3.50	2.80	2.50	2.50	2.80	2.70	2.30	2.50	2.80	108	108	108
40	製 材 (機械) 工	2.85	2.50	2.55	2.60	1.75	2.70	2.30	2.20	2.00	2.30	2.50	1.60	1.40	2.25	98	100	99
41	指 物 工	2.40	3.00	2.50	2.70	2.80	3.00	1.40	1.50	2.50	2.50	2.20	2.20	2.00	2.36	97	98	98
42	漆 器 (塗) 工	3.00	3.00	2.25	2.80	1.40	2.00	1.15	2.00	1.80	2.00	2.30	1.65	1.63	2.08	108	108	100
43	製 網 工	1.45	1.97	1.63	—	1.50	—	—	—	—	—	—	1.40	1.50	1.58	108	109	117
44	農 工	3.37	3.20	2.25	3.20	2.70	3.00	2.35	2.50	2.20	2.70	2.30	1.40	1.80	2.54	105	105	106
45	活 版 工	3.32	2.53	2.50	2.80	2.53	3.85	2.46	2.00	2.00	2.00	1.65	1.45	1.80	2.38	111	110	107
46	製 本 工	2.57	2.30	2.30	2.70	1.50	4.00	1.49	1.90	2.00	2.00	1.80	1.50	2.00	2.16	107	103	103
47	仲 仕 工	2.86	2.40	2.41	2.70	2.30	3.00	2.50	1.95	2.80	2.80	1.40	1.35	2.00	2.34	91	92	87
48	日 雇 男 夫 工	2.07	1.90	2.00	2.40	2.40	2.00	1.80	1.70	2.00	2.00	2.20	1.80	1.50	1.98	95	94	94
49	日 雇 女 夫 工	1.09	1.00	1.20	1.20	1.20	1.20	1.00	1.00	1.00	1.20	1.00	.90	.65	1.05	96	96	97
50	漁 夫 工	1.99	1.75	2.20	—	—	—	1.80	—	—	1.27	—	1.80	1.20	1.72	108.7	105.0	103.2
51	*下 男 月 給	17.05	24.00	20.00	20.00	18.00	20.00	14.00	10.00	17.00	15.00	14.00	15.00	10.00	16.47	102	103	100
52	*下 女 月 給	13.65	17.00	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	10.00	10.00	12.00	12.00	10.00	8.00	12.67	108	108	106

備考 \* ハ普通ノ給料月額ヲ示シ食費、手當、其ノ他ノ賃物給與ヲ含マズ

昭和三年十月二十三日印刷  
昭和三年十月二十五日發行

中央職業紹介事務局  
電話丸の内二八六七番

東京市京橋區北橋町九番地  
西 區 市  
東京市京橋區北橋町九番地  
成 社 印刷所  
電話京橋八一三番

## 昭和三年八月賃銀概況 (商工省調査)

本月ニ於テ十三都市賃銀指數ノ總平均 101.6 ニシテ之ヲ前月ノ 101.5 ニ比較スレバ一厘ノ昂進ニ當リ調査種類五十二種中前月ニ比シ昂進セルモノ十九種、低下セルモノ十六種、保合ノモノ十七種ナリ尙本月ノ總平均ヲ前年同月ニ比較スルトキハ一分ノ昂進ニ當リ。而シテ之ヲ十二分類別ニ示セバ次ノ如シ

業 種	都 市 別	指 數												平 均	前 年 同 月	前 月 同 日	前 年 同 日	
		京	阪	神	京	名	横	廣	金	仙	小	福	新					高
1	製絲女工	1.02	-	1.10	1.15	0.78	-	1.00	1.00	1.00	-	-	1.10	1.02	106	100	98	
2	綿紡績女工	1.28	1.13	1.36	1.03	1.04	-	1.16	1.00	.85	-	1.08	1.10	-	1.12	104	103	105
3	絹紡績女工	1.06	-	-	.85	1.05	-	-	.80	.65	-	.80	-	-	.87	99	98	102
4	綿力織女工	.97	1.19	1.20	1.20	1.20	-	.63	.80	.80	-	1.37	.65	.33	1.04	107	103	101
5	絹手織女工	2.15	-	-	1.50	.33	-	-	.90	1.00	-	.85	-	.65	1.13	103	101	96
6	莫大小編男女工	1.97	1.95	1.75	1.80	1.20	1.50	1.52	-	-	1.67	-	-	1.70	1.67	100	97	99
7	莫大小編女工	1.19	1.00	1.05	1.10	.40	.60	.63	-	-	.70	-	-	.75	.82	98	100	97
8	莫大小編女工	2.44	2.36	2.13	2.70	2.23	2.23	3.02	1.80	2.10	2.23	1.76	1.90	2.30	2.32	100	101	98
9	仕上織工	2.60	2.53	2.13	2.60	3.17	2.17	3.23	1.90	2.10	2.28	1.90	1.90	2.20	2.36	101	101	100
10	織造工	2.54	3.47	2.02	2.70	2.85	2.23	3.14	1.80	2.10	2.30	1.77	1.75	2.00	2.44	108	108	109
11	鍛冶工	2.46	1.72	2.09	2.70	3.71	2.07	2.47	2.20	2.10	2.20	1.89	1.75	2.50	2.30	105	105	102
12	木工	2.89	2.25	1.85	2.70	3.10	2.35	2.47	2.50	2.50	2.20	1.90	2.20	2.42	104	105	104	
13	陶器製造工	1.72	1.77	1.50	2.50	1.90	3.50	-	1.00	1.80	-	2.50	-	1.50	1.97	99	98	103
14	硝子製造工	2.50	2.32	1.98	-	2.00	2.63	1.69	1.90	1.50	3.00	2.00	1.48	1.55	2.05	105	102	103
15	セメント製造工	3.05	1.55	2.49	-	1.74	-	-	-	-	-	-	-	1.61	2.07	101	105	93
16	煉瓦製造工	1.52	2.32	1.10	1.70	1.50	-	-	1.60	2.20	-	1.95	1.00	-	1.65	94	97	112
17	瓦製造(特)工	2.12	-	1.60	2.90	-	1.80	1.30	1.60	2.50	-	1.95	-	1.40	1.91	95	98	95
18	製薬(工業薬)工	1.51	1.48	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	1.50	-	1.62	113	112	106
19	硝子製造男工	1.70	1.30	1.30	-	1.80	-	1.49	1.00	-	-	-	1.55	-	1.45	84	84	84
20	硝子製造女工	.85	.70	.72	-	.80	-	.72	.40	-	-	-	.65	-	.68	87	86	87
21	榨油工	1.93	1.75	1.90	-	1.85	2.15	1.80	2.40	1.20	2.10	2.00	-	1.70	1.85	100	99	103
22	榨油工	1.45	-	1.35	-	-	-	-	-	-	1.60	-	-	1.50	1.48	111	111	100
23	洋紙製造工	1.89	1.46	1.62	1.85	-	-	1.79	-	-	-	-	1.65	-	1.71	105	105	103
24	洋紙工	2.81	2.00	2.37	-	-	2.50	1.24	-	-	-	-	-	-	2.18	95	94	94
25	製粉(小麦)工	1.83	1.97	1.61	-	2.20	2.25	-	-	1.90	1.85	-	1.00	-	1.83	111	110	101
26	清酒醸造工	2.50	1.18	1.95	-	-	-	-	2.82	1.93	1.47	1.64	-	1.50	1.32	95	95	94
27	酒醸造工	2.50	2.50	1.47	1.67	2.00	2.25	1.82	1.43	1.93	1.75	1.23	1.40	1.70	1.82	113	113	111
28	醬油醸造工	1.80	2.00	2.20	-	2.02	-	-	-	-	-	1.80	-	-	1.98	115	113	113
29	精製菓子製造工	1.67	1.46	1.92	2.00	1.25	1.33	1.30	1.80	1.50	1.70	1.33	1.50	1.20	1.54	93	95	99
30	菓子製造工	1.92	1.85	-	1.40	-	1.60	1.60	-	-	-	-	-	-	1.69	100	100	89
31	洋服仕立工	3.50	3.00	2.20	3.40	2.50	2.50	1.90	1.30	2.50	1.90	2.00	1.70	2.00	2.38	96	101	90
32	靴仕立工	2.66	2.50	2.75	3.50	2.00	2.85	2.50	2.00	2.00	2.00	1.80	1.70	1.40	2.20	104	106	101
33	靴工	1.99	2.28	1.95	1.75	2.40	1.75	1.45	1.65	1.60	1.70	2.00	1.50	1.60	1.79	93	93	95
34	大工	3.10	3.30	3.15	3.20	3.00	3.50	2.60	2.50	2.75	2.80	2.50	2.50	2.60	2.84	100	100	103
35	左官	3.67	3.40	3.50	3.50	3.00	3.50	3.00	2.50	3.50	3.50	3.00	2.60	2.00	3.13	105	105	107
36	石工	4.03	3.80	4.10	3.50	3.50	3.00	2.90	3.00	3.00	3.40	3.00	2.90	2.90	3.24	97	98	102
37	煉瓦積工	3.57	3.50	3.25	3.50	3.00	3.50	2.80	3.00	3.50	3.50	3.00	2.50	2.30	3.15	95	95	98
38	瓦葺工	3.80	4.50	3.40	3.20	4.50	3.60	3.00	2.80	2.50	3.50	3.00	2.80	2.50	3.32	99	100	102
39	ベシキ工	3.00	3.00	3.25	3.00	2.50	3.50	2.80	2.50	2.50	2.80	2.70	2.30	2.50	2.80	103	103	108
40	製材(炭坑)工	2.85	2.50	2.55	2.60	1.75	2.70	2.30	2.20	2.00	2.30	2.50	1.60	1.40	2.25	98	100	99
41	摺物工	2.40	3.00	2.50	2.70	2.80	3.00	1.40	1.50	2.50	2.50	2.20	2.20	2.00	2.36	97	98	99
42	漆器(塗師)工	3.00	3.00	2.25	2.80	1.40	2.00	1.15	2.00	1.80	2.00	2.30	1.65	1.65	2.08	108	108	100
43	製襦工	1.45	1.97	1.63	-	1.50	-	-	-	-	-	-	1.40	1.50	1.58	108	109	117
44	墨工	3.37	3.24	2.25	3.20	2.70	3.00	2.35	2.50	2.20	2.70	2.30	1.40	1.80	2.54	105	105	106
45	活版工	3.32	2.51	2.50	2.80	2.33	3.85	2.46	2.00	2.00	2.00	1.65	1.45	1.80	2.38	111	110	107
46	製本工	2.57	2.30	2.30	2.70	1.50	4.00	1.40	1.30	2.00	2.00	1.80	1.50	2.00	2.16	107	103	103
47	仲仕工	2.86	2.40	2.41	2.70	2.30	3.00	2.50	1.95	2.80	2.80	1.40	1.35	2.00	2.34	91	92	87
48	日傭男工	2.07	1.90	2.00	2.40	2.40	2.00	1.80	1.70	2.00	2.00	2.20	1.80	1.50	1.98	95	94	94
49	日傭女工	1.69	1.80	1.29	1.20	1.20	1.20	1.00	1.00	1.00	1.20	1.00	.90	.65	1.05	96	96	97
50	漁夫	1.99	1.75	2.20	-	-	-	1.80	-	-	1.27	-	1.80	1.20	1.72	107	103	105
51	*下 男 日給	17.05	21.00	20.00	20.00	18.00	20.00	14.00	10.00	17.00	15.00	14.00	15.00	10.00	16.47	102	103	100
52	*下 女 日給	13.65	17.00	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	10.00	10.00	12.00	12.00	10.00	8.00	12.67	103	108	106

備考 \* ハ普通ノ給料月額ヲ示シ食費、手當、其ノ他ノ賃物給與ヲ含マズ

昭和三年十月二十三日印刷  
昭和三年十月二十五日發行

中央職業紹介事務局  
電話丸の内二八六七番

印刷所 東京市京橋區北橋町九番地  
印刷所 東京市京橋區北橋町九番地

印刷所 東京市京橋區北橋町九番地  
印刷所 東京市京橋區北橋町九番地  
電話京橋八一三番

終

